

2001年度

講義計画

桃山学院大学

國

十

義

詩

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	1 1	通期	4 単位	一ノ瀬 篤
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>下記の書物を解説を加えながら丁寧に読んでいく。このテキストはイギリスの代表的経済新聞である Financial Times 紙に掲載されたユーロ（EUの共通通貨）関係の記事を集大成したものである。したがって章節構成は必ずしも厳密ではない。その反面、どこからでも気楽に読める利点がある。</p> <p>ドルと並ぶ国際通貨としての役割を期待されているユーロであるが、前途には問題も多い。ユーロについて歴史的経緯を含む基礎的な知識を得ることを目標とする。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>1 回に記事数で2ないし3（頁数で5－6頁）読む。1 記事について一人の発表者を決め、発表者には全訳と要約および簡単な解説文を付したレポートを、受講者人数分、提出していただく。通期で1 4 0 頁前後を読むことになる。</p> <p>出席は重視する。とくに発表に当たって欠席したり、レポートを提出しなかったりした場合は、以後の受講を禁じる場合があるので、注意されたい。初回は一ノ瀬がレポーターになる。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末試験を含め年間で4度の試験を行い、その結果を発表・出席状況と総合して評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>上川孝夫・藤田誠一・向寿一編『現代国際金融論』（有斐閣、1999年）</p>			
<p>[教科書]</p> <p>Financial Times, The Birth of the Euro, Penguin Books, 1998</p>	<p>田中素香編著『EMS：欧州通貨制度：欧州通貨統合の焦点』（有斐閣、1996年）</p>			

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	1 2	通期	4 単位	一ノ瀬 篤
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>下記の書物の第1章を解説を加えながら読む。このテキストは、当該問題の研究者として定評ある著者が、IMFを中心とするブレトン・ウッズ体制を史的な視点から総括しようとするもので、現在の国際通貨制度が抱えている問題点を考える際に、重要な素材を提供する。</p> <p>歴史的な接近法によって、国際通貨制度に関する基礎的理解を得ることを目標とする。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>1 回に6 頁程度を読む。1 回について2 人の発表者を決め、発表者には全訳と要約レジメを人数分、提出していただく。通期で1 5 0 頁前後を読むことになる。</p> <p>発表に当たって欠席したり、レポートを提出しなかったりした場合は、以後の受講を禁じる場合があるので、注意されたい。初回は一ノ瀬がレポーターになる。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>期末試験を含め年間で4度の試験を行い、その結果を発表、出席状況と総合して評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>上川孝夫・藤田誠一・向寿一編『現代国際金融論』（有斐閣、1999年）</p>			
<p>[教科書] M. D. Bordo & B. Eichengreen, ed., A Retrospective on the Bretton Woods System: Lessons for the International Monetary Reform (The University of Chicago Press, 1993)</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	13	通 期	4 単位	か 何 イ 為
[講義概要・学習目標] 社会主義市場経済移行中の中国経済・社会環境を反映し、現代中国事情への理解に有益な初歩的な中国語文献の購読により、中国語の読解力を高めながら、中国経済・社会に対する理解を深めるという一石二鳥の効果を図る。	[講義計画] 通年講義で80ページを読み、1学期40ページ程度、1講義あたり3-4ページ程度。			
[成績評価の方法] 平常点	[参考文献] 必要に応じて参考文献を指示する。			
[教科書] 使用しない。ただし、講義の際に随時プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	14	通 期	4 単位	熊谷 次郎
[講義概要・学習目標] 外国書購読だから、新聞や雑誌ではなく、少し重厚な本を使う方がその趣旨にそうであろう。とはいっても、時間の制約や諸君の英語力の問題もあるので、読みやすく、関心が持てそうなもの、ということで下記の教科書に選んだ。ケインズ主義が各国の経済政策にいかにか大きな影響を及ぼしたかを、経済思想の政治力という観点から描いたものである。読解が中心だが、出来たら、内容を別の英語で言い換えるという挑戦をやってもらっても考えている。無理かな？まあ、それはそのときになって決めましょう。What would you say to discussing the theme in English?	[講義計画] 教科書は400頁の分厚い編著だが、その内の日本に関する章(Elenor M. Hadley, "The Diffusion of Keynesian Ideas in Japan", pp.291-309)を読むことにする。日本に関する事柄なので理解しやすいと思う。もし時間的に余裕があれば、同書の他の章、たとえば、Donald Winch, "Keynes, Keynesiansim and State Intervention"やPeter A.Gourevitch, "Keynesian Politics: The Political Sources of Economic Policy Choices"なども読んでみたいと考えている。			
[成績評価の方法] 出欠と試験の成績をもってする。	[参考文献]			
[教科書] Peter A. Hall (ed.), <i>The Political Power of Economic Ideas: Keynesianism across Nations</i> , Princeton UP, 1989. ただし、必要な部分をコピーして配布するので購入の必要はない。もちろん購入してもかわないが、その際は自分で注文のこと。ペーパーバック版で19ドル。図書館にはないようだ。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	15	通 期	4 単位	佐々木 和 子
[講義概要・学習目標] Final Reports of the United States Strategic Bombing Survey, Report of the Oil and Chemical Division, Oil in Japan's War (米国戦略爆撃調査団 石油・化学部報告、日本の戦争における石油) の購読を通じて、太平洋戦争期の日本の石油産業について概観する。 米国戦略爆撃調査団報告書には、戦時経済部門の46巻が含まれており、15年戦争期の日本経済の発展と崩壊の過程を示す重要な資料となっている。その中でも石油・化学部の報告書は、戦争当時のわが国の石油産業の実態を示す重要な資料となっている。この報告書の購読とともに、当時日本本土に加えられたB29の爆撃についても言及する。	[講義計画] 授業は、事前に報告担当者を決め、テキストを翻訳し、適宜解説をおこなう。 前期には、調査団の組織、報告書の全体像にもふれる。 後期には、日本国内の石油製油所の各製作所毎の報告書を中心に読み進めていく。			
[成績評価の方法] 成績は、出席状況と報告内容によって総合的に評価する。 報告をおこなわなかった者にはレポートを課すことがある。	[参考文献] 授業中に適宜指示する。			
[教科書] テキストは、随時コピーして配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	16	通 期	4 単位	滝 田 和 夫
[講義概要・学習目標] 3～4年前には天が落ちたかと思われるほどの通貨危機に見舞われたアジア経済がその後急速に回復し、また、99年1月には輝かしい未来を祝福されてスタートした欧州統合通貨ユーロがその後とどまるところをしないユーロ安に見舞われ、さらには、空前の長期繁栄を謳歌してきたアメリカ経済にようやく反転の兆しが現れて、逆に回復を開始したばかりの日本経済に冷や水が浴びせられるなど、世界経済は激動の真っ直中にある。このクラスでは、このように激しく変化する世界経済のいくつかのトピックスに焦点をあてて、欧米の経済雑誌・新聞記事を読んでいきたい。同時に、学術雑誌や著書に掲載される著名な経済学者のエッセーあるいは雑談も読むこととしたい。したがって、年間を通して英文による経済記事やエッセーを何本か読んでいくことになるので、統一的なテキストは使用せず、その都度プリントを配布する。	[講義計画] テキストは、その都度プリントで配布する。それを学生諸君がクラスで順番に翻訳していくという形式をとるので、必ず自宅で十分に予習をしてこること。			
[成績評価の方法] 出席状況、平常点、および年に数回おこなう小テストの総合評価。特に出席を最重視し、欠席や遅刻の多いものには単位を与えない。	[参考文献]			
[教科書] 随時プリント配布				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	17	通 期	4単位	竹 歳 一 紀
[講義概要・学習目標] 英文の経済雑誌・資料の読解に慣れることを目標とする。 そのために、比較的短く図表等も含まれた雑誌・資料の記事をいくつか読んで、背景説明なども行いながら、それぞれの内容を理解していくことに重点をおく。 とりあげる教材はまだ具体的に決めていないが、さしあたり経済発展や環境問題に関する国際機関のレポートなどを考えている。	[講義計画] 順番に割り当て部分の英文和訳をしていってもらうとともに、こちらから補足説明を加える。そして、各記事毎に内容に関するチェックテストを行う。ただし各記事のすべての部分について和訳を行うとは限らない。すなわち、講義時間中に誰にも英文和訳が割り当てられなかった部分についても、各自読んで内容を理解しておかなければならない。			
[成績評価の方法] おおむね、出席30%、割当部分の和訳30%、チェックテスト40%	[参考文献]			
[教科書] こちらで用意する				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	18	通 期	4単位	寺 中 直 人
[講義概要・学習目標] この講義では、インターネットを使い、英語資料・文献の購読を行う。授業は、与えられた課題に対する e-mail による報告を中心に行う。それをもとに、翻訳上の問題点やさらに詳しく調べることがらについて指示する。 この講義で習得してもらいたいことは、英語による情報収集の技術とその結果を他者に伝える能力である。したがって、英語の読解力とともに、それをまともな日本語で報告できるかが問われる。 e-mail を基本的な連絡手段とするので、履修者は必ずメールアドレスを取得しておくこと。また、個々の授業の出席は必須ではないが、最初はパソコンの使い方、インターネットによる情報収集の方法や電子メールの送り方等、技術的なことから説明するので、出席すること。	[講義計画] 1. オリエンテーリング 2. インターネットによる情報収集技術 3. HTMLの書き方(1) 4. HTMLの書き方(2) 5. 以下、課題の説明とレポートに対する指示の繰り返し			
[成績評価の方法] レポートの内容を中心に評価する。詳しくは、最初の講義で説明するので必ず出席すること。	[参考文献] 小林順『インターネット英語入門』（岩波ジュニア選書354、2000年） 石橋太郎・遠山弘徳・柴田透『はじめようインターネットで経済学』（日本評論社、1998年） 新田俊三・中山光太郎『社会経済のためのインターネット入門』（時潮社、1997年）			
[教科書] なし。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	19	通 期	4単位	中 村 征 之
[講義概要・学習目標] <p>ヨーロッパの統合体であるEUが超国家的政治、経済組織として機能を強めてくるにつれ、近年、ヨーロッパ各地の広域政府（州）、地方自治体が自ら、「政府」としての役割強化を目指す動きを展開し始めている。このような地域を基盤とした地方政府の活動を生み、支える「自治」の論理はどこから生まれたのか。また、どのようにして近代的政治システムの中で欠くことのできない存在にまでなりえたのか。その歴史、理念の展開をたどるテキストを通して自治の思想、構造を探る。それは現代社会の政治的、経済的理解を深める基礎努力につながる。</p>	[講義計画] <p>教科書を精読、参考文献にも目を通しながら、英文解読のスピードよりも、内容理解を深めることに主眼を置く。</p>			
[成績評価の方法] <p>2回の定期テストによる。</p>	[参考文献] <ul style="list-style-type: none"> ・「アメリカの民主政治」A・トグヴィル（講談社学術文庫） ・Tony Byrne, Local Government in Britain, Penguin Books. ・「近代の政治思想」福田歓一（岩波新書） 			
[教科書] <p>・ Alan Norton, International Handbook of Local and Regional Government, Edward Elgar Publishing Limited, 1997.</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	20	通 期	4単位	濱 田 博 男
[講義概要・学習目標] <p>経済書・雑誌論文・新聞記事などを読み、英文の情報をつうじて今日の世界・日本経済の現状とその抱える諸問題を広く理解できるようにしたい。 継続しての学習努力が必要なので出席を重視します。宿題も課します。授業には辞書必携。 テキストは当方でコピーし、授業時に配布します。</p>	[講義計画] <p>（前期）平均的な英語読解力に配慮し、比較的やさしい新聞経済記事を中心にし、経済英語に慣れるようにします。 （後期）やや難しい経済論文に重点を移す予定。</p>			
[成績評価の方法] <p>平常成績（出席状況、毎回の課題・宿題にたいする努力状況）と年2回のテストの成績で総合評価します。</p>	[参考文献]			
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	21	通 期	4 単位	原 正 行
[講義概要・学習目標] 経済学に関する英文を読むことによって 経済学の基礎理論を学習すると同時に、 英語の読解力を高める。	[講義計画]			
[成績評価の方法] 平常点	[参考文献]			
[教科書] <i>Economics</i> by P.Samuelson & W.Nordhaus, 18th edition, McGraw-Hill Book Co.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	22	通 期	4 単位	前 田 治 郎
[講義概要・学習目標] ヨーロッパ中央銀行 (ECB) が公表する月報、スピーチ (英文) などを素材 として、現代ヨーロッパの金融問題を考える。ほぼリアルタイムで動きを追う ことになるので、日本語新聞報道も参考にできる。基本用語にさえ慣れれば、 簡単に読みこなせると思われる。	[講義計画] 輪読形式で、日本語に翻訳する。なお、予習なしの「出席」は、出席とはみ なさない。			
[成績評価の方法] 出席及び授業中の平常評価	[参考文献]			
[教科書] テキストはコピーして随時配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	23	通 期	4 単位	中 村 勝 之
【講義概要・学習目標】 現在日本経済は「IT」に代表されるような、「情報」を基礎とした産業育成に重点を置く傾向がある（いわゆる「IT革命」）。これと呼応するわけではないが、経済学でも「情報」を重視した議論が行われている。この議論の中心は、「情報」を持つものと持たないものとの間に生じるさまざまな問題を分析することであり、われわれの身近に存在するものである。そこでこの講義では、近年盛んに行われている「情報の経済学」の初歩的な文献を1年に読むことによって、「情報」の持つ意味について考えてみたい。	【講義計画】 毎回報告者によって原文の全訳を発表してもらおうと同時に、そこで「何を言わんとしているのか」についても発表してもらおう。発表中の質疑応答も、随時行っていく。			
【成績評価の方法】 出席・報告・討論などを総合評価	【参考文献】 適宜示していく。			
【教科書】 Brian Hillier <i>The Economics of Asymmetric Information</i> Macmillan				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	31	通 期	4 単位	北 野 誠 一
【講義概要・学習目標】 アメリカのADAやカナダのInclusionやdeinstitutionalization等。現代のもとも本邦の障害者福祉と英語圏におけるトピックスやテーマについて。主に英語文献を読み解き、理解を深める。	【講義計画】 前期 ADAやInclusionやdeinstitutionalization等のテーマについて、おしよで英語文献を読み解く。後期、主に受講生の関心のあるテーマにもとじて英語文献を中心として、受講生による発表コメントを促す。			
【成績評価の方法】 発表・レポート等	【参考文献】			
【教科書】 講義中に適宜指示する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	32	通 期	4 単位	小 川 登
〔講義概要・学習目標〕 ドップの古典的名著『賃金論』の逐語訳を通じて、社会科学入門を究めた。M. Dobbの <i>Mages</i> はケインズが初代編集長をつとめた The Cambridge Economic Handbooksのなかの1冊であり、いまや古典的名著といえよう。初版は1928年。 ドップの英語・文体は難解そのものである。キングス・イングリッシュ（今様に言えばクイーンズ・イングリッシュ）で、一文が長いのが特徴。言い回しが複雑でワン・パラグラフが、なにしろ長いので、和訳していくのが難しい。だから、逆に訳しがいがある。 ドップの <i>Mages</i> は、賃金論というよりも賃金制度論と言ったほうが適切で、資本主義経済全般の制度分析となっている。 第1回目の講義で15名以下の学生数にしぼる（抽選で決める）。よって、第1回目の講義に欠席した学生は受講不可とする。	〔講義計画〕 ドップの英語文が難解そのものなので、英和辞典を片手に持ち、ワンセンテンスづつ 逐語訳（直訳）をしていただく。訳する人は、無差別に、その場、その場で当てていく。 （テキストは絶版になっているので、当方でコピーして配布する）			
〔成績評価の方法〕 何回ワンセンテンスを訳したかによる。単位認定は出席者の我慢強さによるものとし極めて厳しくする。	〔参考文献〕			
〔教科書〕 M. Dobb, <i>Mages</i> , James Nisbet, 1958.				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	33	通 期	4 単位	北川 紀男
〔講義概要・学習目標〕 文化社会学の古典であるW.F.Ogburnの"Social Change"(1950年)を講読する。タイトルは、『社会変動論』となっているが、サブタイトルからわかるように『文化変動論』の古典として知られているものである。社会の変動過程を、文化の視点から考察したものであり、社会学の基礎タームとしてよく知られている「文化遅滞現象(cultural lag)」や「同時的発明(simultaneous invention)」の概念は、オグバーンが本書のなかで提示したものである。本書は大部なものであり、全部を読むことは無理だと思われるので、同時的発明を扱った第2部と文化遅滞現象を論じている第4部を講読するつもりである。 外国書の古典をじっくり講読することを通じて、外国文献を読む素養を涵養すると共に、発明や発見の社会的要因の分析を行った「同時的発明」や文化変動の進展の差異がもたらす社会的影響を考察した「文化遅滞現象」の概念を学ぶことによって、文化変動の古典的理論の一つを学び取って欲しい。	〔講義計画〕 通年の授業をすべてテキストの講読に当てる。 <前 期> Part II Social Evolution ch.1-8 <後 期> Part IV Social Maladjustment ch.1-6			
〔成績評価の方法〕 平常の授業時間中の外国書の訳出、質疑応答などにより評価し、ペーパーテストは行わない。尚、外書講読の性格から出席状況を加味することはもちろんである。	〔参考文献〕 必要に応じて、その都度紹介する。			
〔教科書〕 William F.Ogburn "Social Change--with respect to culture and original nature--" 1950				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	34	通 期	4 単位	鈴木博信
【講義概要・学習目標】 英国のニュース週刊誌「エコノミスト」、米国の「タイム」、ロシアのニュース週刊誌「モスクワ・ニュース」(英語版)などの記事を中心にして、今日的な国際問題や地球環境をめぐるテーマに角触れていきたい。	【講義計画】			
【成績評価の方法】 1. 平常の出席状況と講義への参加度 2. 学期末のレポート 以上をもとにして評価。	【参考文献】 できれば、研究社 片仮「リーダーズ英和辞典」を常用することが、ありがたい。			
【教科書】 随時プリントを配るとともに、必要に応じて指示する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	35	通 期	4 単位	西川 一廉
【講義概要・学習目標】 『How to 自分探しへの旅』が当講読のテーマである。こころの時代といわれて久しいが、こころの充実にはほど遠い。それどころか現代人のこころは淋しい荒野のようにも見える。そこで『How to こころへの旅』のテーマのもとに、自己理解のため(ひいては他者理解のため)の手法について学習する。	【講義計画】 英文を読み進めながら、私たちは何処から来て、何処へ行こうとしているのか、「自分探しへの小旅行」を試みる。 また、随時、グループ討議の機会を設定する。			
【成績評価の方法】 出席、事前学習、教室での報告、前期末試験、後期末試験などをもとに総合的に評価する。	【参考文献】 随時、指示する。			
【教科書】 授業開始時にプリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	51	通 期	4 単位	岡 本 英 嗣
[講義概要・学習目標] <p>この外国書講読では組織の人間関係を取り挙げる。この講読では Robert N. Lussier の "Human Relations in Organizations" の第4章 Your Human Relations with Others と第5章 Motivation 第6章 Leadership の三つのテーマを取り挙げる。内容は平易であり、高校時代の辞書を使って十分読みこなすことができる。</p> <p>この外国書講読では学生が外国語の専門書に慣れる事を目標とする。親切丁寧に指導するつもりであるので多くの学生の履修を期待する。</p>	[講義計画] <p>前期 テキストの第4章で「他人との人間関係」について考える。 後期 テキストの第5章で「モチベーション（動機づけ）」、第6章で「リーダーシップ」について考える。</p>			
[成績評価の方法] <p>出席状況と前期・後期の試験結果及び毎回の発表（文章訳）状況を総合して評価する。</p>	[参考文献]			
[教科書] <p>Robert N. Lussier, "Human Relations in Organizations", Richard D. Irwin, Inc., 1990</p> <p>プリントを配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	52	通 期	4 単位	岡 本 英 嗣
[講義概要・学習目標] <p>この外国書講読では組織論に関する文献を取り挙げる。この講読では Mary Jo Hatch の "Organization Theory" の第2章 Histories, Metaphors, and Perspective in Organization Theory と第3章 The Environment of Organization の二つのテーマを取り挙げる。内容は具体的でかつ平易であり、高校時代の辞書を使って十分読みこなすことができる。</p> <p>この外国書講読では学生が外国語の専門書に慣れる事を目標とする。ゆっくりと進み、親切丁寧に指導するつもりであるので多くの学生の履修を期待する。</p>	[講義計画] <p>前期 テキストの第2章で「組織論の歴史」、「メタファー」、「ものの見方」などについて考える。 後期 テキストの第3章で「組織の環境」問題を考える。</p>			
[成績評価の方法] <p>出席状況と前期・後期の試験結果及び毎回の発表（文章訳）状況を総合して評価する。</p>	[参考文献]			
[教科書] <p>Mary Jo Hatch, "Organization Theory", Oxford University Press 1997</p> <p>プリントを配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	5 3	通 期	4 単位	柴 理 梨 亜
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>国際化や情報化が進むなか、現代のビジネスマンにとっては英文の情報を直接取り入れ、分析し、利用することが不可欠となっている。特に会計の分野では企業の情報開示が重視され、24時間世界中で投資活動が行われる今日では会計情報を読み取る力が重要となる。</p> <p>この科目では、国際会計に関するテーマを中心に会計の専門用語及び基準等の知識を身につけることを目標とする。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>事前に担当を決め、プリントの翻訳と解説をして、全員でその内容について議論する。議論するためには、担当以外の学生も発表予定の内容をしっかりと読んでおくことも必要です。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>平常の報告内容、レポート、クラスでの発表を総合的に評価する。無断欠席は減点になります。</p>	<p>[参考文献]</p>			
<p>[教科書]</p> <p>テキストはコピーして随時配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	5 4	通 期	4 単位	柴 理 梨 亜
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>現在、日本各地でベンチャー企業を支援する組織が次々と設立されていて、「ベンチャー企業を育てよう」と言う動きがよくみられる。そこで、今回取り上げるテキストは、簡単な英語を使って”Entrepreneur”とは何か解説して、20世紀で成功した日本や世界各地の企業家の例をあげて説明している。</p> <p>抗議の目的は英語を読めることだけではなく、この企業家精神を理解し、積極的に自分の考えや内容について意見をしっかりと伝えるようにすることです。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>テキストで取り上げているケースを担当毎に割り当て、その解説をしてもらって、全員でその内容について議論する。各自興味を持つ分野でのケースを調べて発表してもらうことも予定しています。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>平常の報告内容、レポート、クラスでの発表を総合的に評価する。無断欠席は減点になります。</p>	<p>[参考文献]</p>			
<p>[教科書]</p> <p>”STARTING YOUR OWN BUSINESS, -Case studies of young entrepreneurs”, Mini-World Books, Published by Kozo System, Inc.</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	5 5 5 6	通 期 通 期	4 単位 4 単位	隅田 孝
<p>[講義概要・学習目標] マーケティングをいかに効率よく戦略的に計画・実践するかということはほとんど全ての企業にとって非常に重要な課題である。また、企業はマーケティングを計画・実践するには生産、製品、販売、顧客、市場などさまざまな環境と密接な関係をもっていることを認識していなければならない。マーケティングの核となる概念をしっかりと理解した上で、以下のようなことも学んでいく。 企業が顧客のニーズ(needs)やウォンツ(wants)を認識し、それらに対して4P (Place, Price, Product, Promotion) を柱としたマーケティングミックスをどのように構築するのか。企業が自社製品を市場に送り出す際に採られる市場細分化がどのように行われるのか。事業ポートフォリオ、製品差別化、ニッチ戦略などマーケティングに関する事項について学習する。 経営学およびマーケティングに関する数多くの専門用語を英文で学んでいくことになるため、受講生各人は予習が不可欠である。</p>	<p>[講義計画] 1. マーケティングの概念 2. 生産、製品、販売、市場の概念 3. 顧客価値と顧客満足について 4. 企業のマーケティング環境 5. マーケティング・ミックスと4P (Place, Price, Product, Promotion) 6. 製品差別化 7. 市場細分化 8. 消費者行動1 9. 消費者行動2</p> <p>以上が概ねの予定であるが、これら以外にも必要に応じて指示をする</p>			
<p>[成績評価の方法] 出席状況、授業態度、期末試験により総合的に評価する。</p>	<p>[参考文献]</p>			
<p>[教科書] Kotler, Philip(1994), <i>Marketing Management</i>, 8th ed., Prentice Hall. より抜粋しプリントを配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
外国書講読	5 7	通 期	4 単位	津戸正広
<p>[講義概要・学習目標] 広い意味で経営学に関する新聞や雑誌の英文記事を素材にして、議論を重ねる。英語学の授業ではないので、むしろ経営学的センスを磨くことを主要な目標にしたい。最近の話題を取り上げるので、最も現代的なテーマについて考える良い機会となろう。経営や経済に関する用語はもちろんのこと、政治・法律・社会・文化などに関する用語も身につけていく。 毎回、できるだけ多くの受講生に指名するので、予習を怠らないようにしなければならない。進度はそれほど速くはないので、丹念に辞書をひく習慣をつけること。ただし、翻訳だけに偏らずに、受講生に率直な意見を出しあってもらい、授業を盛り上げる。英訳だけでは、深い印象が残らないし、新たな興味を引き起こしにくいからである。 英語が得意な人にも不得意な人にも、やる気をおこさせる授業にしていきたい。そのために、授業の最後の20分は、テキストとは別に、最近の経営学上の話題について紹介し、考えるヒントを指示する。 社会に出てからも、積極的に活躍できるよう、そのための基本的な能力を積み上げていく。</p>	<p>[講義計画] 4月および5月は、なるべく基本的な話題を取り上げて、英文の記事に慣れてもらう。例えば、日本の企業の現状、最近の勤労者の姿勢・傾向などに関する素材を取り扱う。また、勉強の仕方についても、アドヴァイスする。 6月および7月は、経営学に関する特定の問題についての記事を取り上げ、やや深く議論をする。例えば、長びく不況と企業の現状、日本の経営の変質などに関する話題を扱う。 9月および10月は、英文を読みこなすだけでなく、各受講生に自分の意見を発表してもらう機会を増やす。特に、日本の現状を打開するための方策などについて、率直に意見を交わす。 11月から1月までは、多くの受講生が興味を持っているテーマを見極め、そのテーマを集中的に議論する。 1年間の授業を通じて、自信を持って議論できるテーマをいくつか身につけてもらう。この自信は、他の諸問題を考察する場合にも、役立つ。</p>			
<p>[成績評価の方法] 授業への出席を最も重視する。さらには、経営学理解の到達度、討論への熱意、積極的な質問なども総合的に考慮して評価する。</p>	<p>[参考文献] 必要に応じて指示するが、日頃から現代の日本に生じている諸問題について、新聞・雑誌・テレビなどを通じて、よく知っておくことが、最良の参考になる。</p>			
<p>[教科書] プリントを配付する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリス文学史Ⅱ (旧英文学史)		通 期	4 単位	金 城 盛 紀
[講義概要・学習目標] イギリス文学史Ⅱの続き。イギリスの文学を18世紀から現代まで、できるだけ作品に触れながら跡づける。時代背景や作家・作品の特徴などにも注意を向けるが、無味乾燥になりがちな抽象的説明は最小限にとどめて、作品を読むことによって文学の流れを追体験できればと願っている。そのためには相当の予習を必要とすることを強調しておきたい。努力はイギリス文学の豊かさと面白さを味わう形で十分に報いられると思う。	[講義計画] 指定テキスト以外にプリント資料も使用する。作品はできるだけテープ音声でも聴いていただき、対象によってはビデオも利用する。			
[成績評価の方法] 試験と平常点	[参考文献] 図書館の指定参考書棚に取り揃えてある。			
[教科書] 郡山直 (編注) <i>A New Anthology of English Literature</i> (英文学代表作品集) (北星堂書店)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者																																																																																										
アメリカ文学史 (旧米文学史)		通 期	4 単位	中 井 紀 明																																																																																										
[講義概要・学習目標] 『白鯨』『スカーレット・レター』『偉大なるギャッツビー』『老人と海』『ボストンの人々』などは映画でお馴染みの作品だが、実はこれらはアメリカ文学史上傑作と認められている小説を映画化したものである。このような作品を産みだした源流を、英国から北米大陸への移民が始まった17世紀にまで辿り、そこから現代までのアメリカ文学の流れをとらえる講義をする。現代文学を理解するにはその源流をしっかりと把握しておかなければならないので、できるだけ作品の原典を押さえながら講義を進めて行く。ほぼ毎回原文資料を豊富に渡すので原文をしっかりと読んで頂きたい。	[講義計画]																																																																																													
[成績評価の方法] 定期試験および随時行うクイズの成績と平素の努力点を配慮する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日</th> <th>前期</th> <th>回</th> <th>日</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (1)</td> <td>1</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (7) Melville</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (2)</td> <td>2</td> <td></td> <td>Realismの文学 (1) Twain</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>18世紀の啓蒙主義 (1)</td> <td>3</td> <td></td> <td>Realismの文学 (2) James</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>18世紀の啓蒙主義 (2)</td> <td>4</td> <td></td> <td>Naturalismの文学 Crane, Norris, Dreiser</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (1) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins</td> <td>5</td> <td></td> <td>両大戦間の文学 (1) Anderson, Fitzgerald</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (2) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins</td> <td>6</td> <td></td> <td>両大戦間の文学 (2) Hemingway</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (1) Poe</td> <td>7</td> <td></td> <td>両大戦間の文学 (3) Faulkner</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (2) Emerson, Thoreau</td> <td>8</td> <td></td> <td>両大戦間の文学 (4) Frost, Sandburg, Stevens, Cummings</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (3) Hawthorne</td> <td>9</td> <td></td> <td>第二次世界大戦後のアメリカ文学 (1) 南部の作家、黒人作家</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (4) Hawthorne</td> <td>10</td> <td></td> <td>第二次世界大戦後のアメリカ文学 (2) ユダヤ系の作家</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (5) Whitman</td> <td>11</td> <td></td> <td>アメリカの演劇</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td>アメリカ文学の独立 (6) Dickinson</td> <td>12</td> <td></td> <td>現代の文学理論</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td>13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日	前期	回	日	後期	1		アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (1)	1		アメリカ文学の独立 (7) Melville	2		アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (2)	2		Realismの文学 (1) Twain	3		18世紀の啓蒙主義 (1)	3		Realismの文学 (2) James	4		18世紀の啓蒙主義 (2)	4		Naturalismの文学 Crane, Norris, Dreiser	5		アメリカ文学の独立 (1) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins	5		両大戦間の文学 (1) Anderson, Fitzgerald	6		アメリカ文学の独立 (2) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins	6		両大戦間の文学 (2) Hemingway	7		アメリカ文学の独立 (1) Poe	7		両大戦間の文学 (3) Faulkner	8		アメリカ文学の独立 (2) Emerson, Thoreau	8		両大戦間の文学 (4) Frost, Sandburg, Stevens, Cummings	9		アメリカ文学の独立 (3) Hawthorne	9		第二次世界大戦後のアメリカ文学 (1) 南部の作家、黒人作家	10		アメリカ文学の独立 (4) Hawthorne	10		第二次世界大戦後のアメリカ文学 (2) ユダヤ系の作家	11		アメリカ文学の独立 (5) Whitman	11		アメリカの演劇	12		アメリカ文学の独立 (6) Dickinson	12		現代の文学理論	13			13			14			14		
回	日	前期	回	日	後期																																																																																									
1		アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (1)	1		アメリカ文学の独立 (7) Melville																																																																																									
2		アメリカへの移民 ビュウリタンの思想と文学 (2)	2		Realismの文学 (1) Twain																																																																																									
3		18世紀の啓蒙主義 (1)	3		Realismの文学 (2) James																																																																																									
4		18世紀の啓蒙主義 (2)	4		Naturalismの文学 Crane, Norris, Dreiser																																																																																									
5		アメリカ文学の独立 (1) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins	5		両大戦間の文学 (1) Anderson, Fitzgerald																																																																																									
6		アメリカ文学の独立 (2) Irving, Cooper, Bryant, Brahmins	6		両大戦間の文学 (2) Hemingway																																																																																									
7		アメリカ文学の独立 (1) Poe	7		両大戦間の文学 (3) Faulkner																																																																																									
8		アメリカ文学の独立 (2) Emerson, Thoreau	8		両大戦間の文学 (4) Frost, Sandburg, Stevens, Cummings																																																																																									
9		アメリカ文学の独立 (3) Hawthorne	9		第二次世界大戦後のアメリカ文学 (1) 南部の作家、黒人作家																																																																																									
10		アメリカ文学の独立 (4) Hawthorne	10		第二次世界大戦後のアメリカ文学 (2) ユダヤ系の作家																																																																																									
11		アメリカ文学の独立 (5) Whitman	11		アメリカの演劇																																																																																									
12		アメリカ文学の独立 (6) Dickinson	12		現代の文学理論																																																																																									
13			13																																																																																											
14			14																																																																																											
[教科書] 谷本泰三他著『初めて学ぶアメリカ文学史』(金星堂、1995)																																																																																														

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語学概論	01	通 期	4 単位	ケビン グレック (前期) Kevin R. Gregg (後期) 野原 康弘
【講義概要・学習目標】 「英語学」とは、英語を対象とする言語学、つまり言語の科学である。科学だからこそ、言語学の目的は、言語現象を記述したりするだけではなく、その現象を説明しようとするところにある。 「英語学概論」だから、英語における諸現象の詳細な記述も説明もできないし、英語に関してきめ細かい、表面的なデータをたくさん与えるつもりも毛頭ない。むしろ英語の文や語彙の構造、音韻体系、などについての基盤となる概念のみを紹介し、把握してもらうこととする。 「英語学概論」だから、主に英語の現象について語る。が、日本語その他の言語のデータも与えて、宿題や試験の対象とすることもある。 本授業の目的は、単に英語に関する事実を山ほど覚えさせることでは決してない。それどころか、英語を人間言語の一例とし、言語学という科学の研究対象と、その研究方法を把握してもらうことである。言語に興味をもって英語を科学的な立場から勉強したい学生を対象とする授業なので、教職課程の学生にとっては、それほど役立つ授業になるとは思えない。	【講義計画】 前期(Gregg): 1) 科学としての言語学 2) 語彙の構造: 形態論 3) 発音: 音声学 4) 調音の規則: 音韻論 後期(野原): 5) 文の構造: 統語論 6) 意味: 意味論と語用論 7) 英語史 8) 社会の中の英語: 社会言語学			
【成績評価の方法】 小テストも年度末定期試験も行なう。従って年度末定期試験でうかつても単位がとれない可能性も十分ある。出席する義務は、もちろんないが、よく欠席したり、念入りにノートをとらなかつたりすると、単位がとれる可能性は極めて低くなる	【参考文献】			
【教科書】 中島平三、『ファンダメンタル英語学』ひつじ書房、1995				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語学概論	02	通 期	4 単位	南 條 健 助
【講義概要・学習目標】 英語学とは、英語という言語の個別言語学である。この講義では、英語の中に見られる「言語の本質にかかわる普遍的な原理」と「英語という言語に特有の性質」をさぐりながら、「英語とは、どのような言語であるのか」を概観することを目標とする。前期・後期を通じて、英語学研究のほぼ全領域を概説し、英語学の研究成果と研究方法に関する基本的な知識を与える。 なお、英語学研究においては、母語の言語的直観を利用するという意味でも、言語の普遍性と個性を明らかにするという意味でも、日本語との対照研究がきわめて重要であるから、この講義では、日英語の対照研究に基づいて編集されたテキストを用いることにした。ただし、授業は必ずしもテキストどおりに進めるわけではなく、口述による講義が中心となるので、受講生諸君は話を聞きながら各自でノートを取ることが求められる。	【講義計画】 <前期> 1. 音声学 2. 音韻論 3. 形態論 4. 統語論 <生成文法> <後期> 1. 統語論 <機能主義> 2. 意味論 3. 語用論 4. 英語史			
【成績評価の方法】 定期試験(50%)、提出課題(40%)、出席状況や授業態度(10%)を総合して評価する。なお、前期・後期それぞれ4回以上欠席した者には単位は与えられない。授業中、私語をする受講生は即座に退室してもらい、その日は欠席扱いとする。	【参考文献】 授業中に指示する。			
【教科書】 西光義弘編『日英語対照による英語学概論』増補版 くろしお出版 1999年 (本体価格 2,500円)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学概論	01	通 期	4 単位	日 下 隆 平
【講義概要・学習目標】 <p>この講義はこれからイギリス文学を学んでゆくうえで、必要となる事柄の修得を目標とする。前期は主として、叙事詩や悲劇など文学作品のジャンルや形式に始まって文芸批評の用語や詩型に至るまで、英文学を学ぶうえで知っておかねばならない知識を代表的な作品を通して学んでゆく。もっとも大切なのは実際に（翻訳であろうとも）作品を読むことである。従って、後期では主として、個別研究の例として19世紀から今世紀初頭にかけて書かれた作品にあたって、そのテーマ・メッセージ・表現などを検討してゆく予定である。</p> <p>授業ではハンドアウトを配布して説明してゆく。また、背景を理解するためにビデオテープも用いて行くつもりである。</p>	【講義計画】 <p><前期> ジャンルからみた文学作品 詩とはどんなものか。 詩型と規則 比喩、神話と象徴、</p> <p><後期> 文学の主題 1 小説と背景 ゴシック小説をさぐる。 2 現代の意味 T.S. Eliot, "The Hollow Men", "Preludes", "The Love Song of J. Alfred Prufrock" 3 アイルランドの詩 ナショナリズムと独立—W.B. Yeats, "Easter, 1916" 平和への祈り</p>			
【成績評価の方法】 <p>前期・後期終了時に試験を行う。</p>	【参考文献】 <p>授業で指示する。</p>			
【教科書】 <p>授業で毎回ハンドアウト配布する。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米文学概論	02	通 期	4 単位	出 原 博 明
【講義概要・学習目標】 主として近・現代の心理小説について論じます。 19世紀小説を完成させると共に20世紀心理小説の元祖となった巨匠 H. James の名作『或る婦人の肖像』を中心テキストとして、その方法と内容について多角度から切り込み、心理小説の本質を解明します。例えば、人間の内面を描くのにどのような方法が用いられているか、経験とは何か、意識とはどういうものか、時間とは如何なるものか、などの問題をとり上げます。 H. James の他に、この講義で取り上げる作家は、E. Wharton, V. Woolf, J. Joyce などです。 これは又、或る意味では、モダニズムの研究と表裏をなすことにもなります。（英語力があることが望ましい。ビデオも補助的に利用します。）	【講義計画】 前期の期間中に受講生は、『或る婦人の肖像』を読了しなければなりません。この期間、私は教室で、専門用語なども紹介しながら近・現代の小説芸術の傾向と諸特徴について講義します。 後期は、受講生が『或る婦人の肖像』を読了しているということを前提として、頻繁に具体的にテキストに言及しながら、その内容と方法について詳細に論じます。その過程で、他の文学者や作品のことも必要に応じて取り込んでいきます。			
【成績評価の方法】 1回のレポート、1回のテスト、授業参加の積極度、この三つの成果を踏まえて総合的に判断する。	【参考文献】 教室で指示する。			
【教科書】 『ある婦人の肖像』上中下、ヘンリー・ジェイムズ作、行方昭夫訳、岩波文庫				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語の構造	01	通 期	4 単位	三 宅 亨
【講義概要・学習目標】 私たちは、あるルールに従って組み合わせた言語音（記号）を用いて自分の表現したいこと（意味）を聞き手（読み手）に伝える。言語音とその連鎖である語や句・文にも、またその意味にもそれぞれ構造がある。つまり、文は単に幾つかの語が無秩序に並んだものではなく、一定のルールに従って組み立てられたものである。その構造を理解しなければ、文を読んだり、書いたり、聴き取ったり、話したりすることはできない。この講義では、文の構造を扱う統語論(syntax)を中心にして、高校までに学習した英文法の知識を現実に使われている英語と比べて整理し直す。同時に伝統文法(traditional grammarr)から生成文法・機能文法・語用論・談話分析など最新の言語理論への橋渡しを試みる。 文学部生は1年次に履修することが望ましい。	【講義計画】 1. 文 2. 動詞と文型 3. 時制と相 4. 話法 5. 態 6. 助動詞 7. 法と条件 8. 否定 9. 形容詞 10. 副詞類 11. 情報構造			
【成績評価の方法】 遅刻や欠席の多い学生には単位を与えない。前期・後期の定期試験はもちろんのこと、日常の学習参加への熱意と小テストやレポートなどに基づき、総合的に評価する。	【参考文献】 その都度指示する。			
【教科書】 毎回 handouts を配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語の構造	02	通期	4 単位	マイケル キャロル Michael Carroll
【講義概要・学習目標】 この授業では、高校までに勉強した英語の文法を考え直させる。英語の構造（文法）は「英語の使い方・コミュニケーション」だけであるから、この授業では、色々な英語コミュニケーションの方法が研究される。言語の形式・意味・用語という3局面の関係がどのようなものであるかが、研究されるのである。教科書を学習するのみでなく、学習者は自分の英語の使い方や自然でauthenticな英語の使い方を分析する。 In this course the grammar that students have learned in High School will be re-evaluated. Since English structure (grammar) is simply 'the way English is used; the way English speakers communicate', this course will examine a variety of ways of communication. The relationship between the three aspects of language, form, meaning and use, will be investigated. Students will not only study the text book, but also analyse their own use of English, and authentic use of English by fluent speakers and writers.	【講義計画】 文法とは何か？ 文法の要素：、節の主部、主語、目的語、述部、動詞の型、名詞の型、形容詞の型、副詞の型、 品詞： 動詞、名詞、形容詞、副詞、代名詞、前置詞、冠詞、接続詞 質問、否定、 語形成 情報構造、韻律 What is grammar? Elements of grammar: clauses, subjects, objects, predicates, phrases Parts of speech: Verbs, nouns, adjectives, adverbs, pronouns, prepositions, Questions and negation Word-formation Organisation of information: cohesion and coherence			
【成績評価の方法】 出席、授業態度、レポート・日記、試験を評価する	【参考文献】 Biber, D., et al. 2000. <u>Longman Grammar of Spoken and Written English</u> . Longman ISBN 0582237254 Swan, M. Walter, C. 1997. <u>How English Works</u> . Oxford University Press. ISBN 9780194314565			
【教科書】 Heidi Riggenbach, Virginia Samuda. 2000 Grammar Dimensions Platinum Book 2, 3rd Edition (Series Editor Diane Larsen-Freeman) ISBN/ISSN 0-8384-0268-2				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリスの詩 (近代詩にみる都市の風景) (旧英米文学講読)		後 期	2 単位	日 下 隆 平
[講義概要・学習目標] 近代から現代にかけて都市特にロンドンは様々な形で描かれてきた。しかし、外面的な都市の風景はじょじょに個人の内面化の過程をたどってゆく。このような都市の風景が心象化ないし内面化を辿ってゆく過程で、大きな転機となったのがジェームス・トムソン(別に同姓同名の詩人がいるので注意)「恐怖の夜の都市」であろう。都市を主題にした詩は数多いが、現代のエリオット『荒地』等が生まれる土壌となった作品である。 以上のように、この講義では19世紀から今世紀にかけて都市はどのように描かれてきたかについて検討してゆく。	[講義計画] William Blake, "London", William Wordsworth, "Composed upon Westminster Bridge" James Thomson, "The City of Dreadful Night" Charles Dickens, "Night Walks" Richard Le Gallienne, "A Ballad of London"等、世紀末の都市の詩 T.S. Eliot, "The Hollow Men", "Preludes", "The Love Song of J. Alfred Prufrock" "Rhapsody on a Windy Night"			
[成績評価の方法] 試験による。	[参考文献] 授業で指示する。			
[教科書] プリント配布				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリスの小説(トマス・ハーディの小説) (旧英米文学講読)		後 期	2 単位	中 村 祥 子
[講義概要・学習目標] 19世紀のイギリス小説は、描かれている社会背景が今日の状況とよく似ており、主人公の喜び・悩み・苦しみ等も、今日私たちの経験するものとはほとんど変わらず、まるで私たちの身近に起こったことであるかのように鑑賞することができる。 この講義では、そうしたイギリス小説の代表作として、トマス・ハーディの短編小説と長編小説について論じる。ハーディは自らの生きた社会の問題を常に正面から取り上げ、それらを巧みな面白いストーリーを通して、的確な英語で表現した作家である。彼の諸作品を読むことで、イギリス小説を読む楽しみを味わうと共に、優れた文学作品の意義と可能性とを、さまざまな角度から考えてみたい。	[講義計画] ハーディの多くの作品のうち、短編小説数編と、代表的な長編小説3編を中心に取り上げる。それらを左記の講義の目標に沿って論じると共に、作者の意図を正確に把握するために、それぞれの作品の核心部分は原文で読んでみる。			
[成績評価の方法] 後期末のテストの成績と平常の成績との総合評価による。平常の成績には、出席状況のほか、指示した文献(テキスト、配布プリントなどを含む)をどれだけ真面目に読んで来たかをも加味する。	[参考文献] 授業中に指示する。			
[教科書] 1. Hardy 作 田代編注 <u>An Imaginative Woman & Other Stories</u> (英宝社) 2. 『ハーディ短編集』河野一郎訳 (新潮文庫)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
イギリスの演劇 (シェイクスピアマジック) (旧英米文学講読)		前 期	2 単位	小 野 良 子
[講義概要・学習目標] シェイクスピアの作品には、国王から一般大衆に至るまで様々な人間が登場し、多様な世界が描きだされている。本講義では、神話や民話、伝説の中で語り継がれてきた妖精たちが活躍する喜劇、『夏の夜の夢』A Midsummer Night's Dream を取り上げる。 アテネに住む四人の男女の恋愛騒動、アテネの公爵シーシュポスとアマゾンの女王ヒポリタの結婚、アテネの職人たちの「このうえもなく悲しく馬鹿馬鹿しい」悲劇の上演、森を支配する妖精王オベロンと妖精女王タイタニアの夫婦喧嘩、そして妖精パックの悪戯が織り合わされた『夏の夜の夢』は、幻想的で現実的、ロマンティックで滑稽な世界を展開する。		[講義計画] 講義では、テキストを読みながら、イギリスを代表するロイヤル・シェイクスピア・カンパニー製作の映画を鑑賞する。		
[成績評価の方法] 小エッセイ ― 毎回、講義後に提出 レポート ― 前期末に提出		[参考文献] 授業中に紹介		
[教科書] W. Shakespeare, <u>A Midsummer Night's Dream</u>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アメリカの詩 (モダニズムの詩人たち) (旧英米文学講読)		後 期	2 単位	出 原 博 明
[講義概要・学習目標] 先ず、文学の精華はやはり詩である、ということを確認して下さい。 E. Pound, T. S. Eliot, R. Frost, W. C. Williams, H. D., M. Moore, e. e. cummings, J. Ransom, S. Plath など、modernism の詩人たちとその作品を中心に講義をすすめていきます。 彼らの因習にとらわれない実験と革新性について解説し、その新しいリリズムと知性を味わって楽しみます。 このModernismへの日本の俳句の影響についても具体的に例証します。 W. Whitman と E. Dickinson についても勉強します。アメリカのModernist詩人たちの多くも、或る意味では、この二大詩人を始祖とする系譜に列なるともいえるからです。		[講義計画] 各詩人毎にハンドアウトを渡して、バックグラウンドや作品について解説したうえで、作品そのものを、方法と内容の両面を踏まえて、詳しく読み込んでいきます。 受講生全員に、各自の感性と知力を総動員して作品を味わうという快樂に参加してもらいます。 ときにはカセットテープを聴き、たまにはビデオも観ます。		
[成績評価の方法] 授業参加の積極度と一回のテスト		[参考文献] 教室で指示する		
[教科書] アメリカの詩 (岩波文庫)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
アメリカの小説 (ジェンダーと家族制) (旧英米文学講読)		前 期	2 単位	佐々木 英 哲
<p>[講義概要・学習目標] Nathaniel Hawthorne (1804-64)の長編作品を欲張って、二作、取り上げる。The Blithedale Romance (1852)とThe Marble Faun (1860)である。時間配分としては前者に四分の三、後者に四分の一を振り当てる。 The Blithedale Romanceについては、登場人物のジェンダーをめぐる心理的社会的葛藤が描かれた作品である。と仮定して本講義で読んでみたい。その登場人物とは、Zenobia: ジェンダー規範に激しい異議申し立てをする。グレアムだが、けげんしきも鼻につく女性。Coverdale: 女を前面に押し出すゼノビアの放つ濃厚なセクシュアリティに惑溺し翻弄される。物語の語り手で、「男臭さ」の感じられない気さくな女性。Priscilla: 可憐で清楚、純情、ジェンダー規範に従う(かに見える)娘。Moodie: 異母姉妹ゼノビア・プリシラの父親で、ある意味で男性性を証明する家父長性を喪失した/慕慕された老人。Hollingsworth: 刑務所改良に躍起になる慈善運動家で、筋骨隆々、情緒的にも粗削りのマッチョだが、女性のような繊細さと優しさをも兼ね備えている男性。ゼノビアの愛を撥ね除け、プリシラ、そして同性のカパデルに愛を乞う。Westervelt: 女性に課せられたジェンダーの特殊性を悪用し、ゼノビア・プリシラ姉妹を権無気味なインテリ男性。彼ら六人は、(家族制度)の破壊さえ辞さない急進的共産主義者達が集う実験農場、ブラズデイル・コミュニティに関係する。この舞台設定から逆に浮き彫りになるのが、産業資本主義に即応する核家族的親密空間を提供する(家族)、(社会的性差-ジェンダー/中産)階級/人種的・民族的アイデンティティーを形成するイデオロギーが収斂する場となる(家族)である。こうして(家族制)の裏面に広がる暗闇が白日の下に曝け出される。(家族)に隠蔽された暴力性とジェンダー・メカニズム、(家族制)を根幹から支える強制的異性愛、異性愛の仮面を著った女性嫌悪症、などが次々とあき出される。このタブーと禁忌の表裏空間である(家族制)の奥底に、一見ガサガサとあき出される語り手カパデルと共に沈黙していかない限り、本作品でジェンダー・メカニズムの秘密は解き明かせないだろう。 次のThe Marble Faunは、アメリカを離れ、異邦の地ローマで芸術活動に専念する二人のピュリタンの男女と、現地の二人の男女の物語である。The Blithedale Romanceでの解説作業をもとに、(父権的家族秩序)とジェンダー・システムが強化されるプロセス、ジェンダー・システムと表裏一体の関係にある女性嫌悪症の発症のメカニズムとを検証する。 次のジェンダーの描き方をテーマとする作品の性格上、そして分析の手法上、字面をぞつただけでは読み取れない、倒錯した欲望、逸脱したセクシュアリティ、異常犯罪心理、人間の心の奥底に潜む残虐性、根深い人種的・民族的・階級的偏見などの関連事象に大きく踏み込んでいかざるを得ないので、免責力のない人、抵抗力のない人には受講を勧められないが、無論、門前払いはいししない。ただし、センセーショナルな面だけを期待して受講しようという人をお断りする。</p>	<p>[講義計画] The Blithedale Romanceについて。長編小説なので、精読すべき重要箇所をこちらからあらかじめ指定しておく。受講者はその箇所を下読みしたうえで授業に臨む。異邦の言語に惹かれて英語英米文学科に入った以上、辞書を引いて語義を確認する煩わしさを厭うことなく、読解作業に臨んでほしい。 文学テキストの本質に密着して関連してくるのは、単なるコミュニケーション(伝達)の言語学で扱う領域を超えた剰余部分である。語学的解釈に留まらない英語力、テキストのexotericレベルに満足せず、esoteric側面まで深読みできる英語力をつけたい。英語力に加えて、自ら主体的に対象に関わろうとする問題意識と磨き込まれた感性が、物を言うのは言うまでもない。 また、関連文献を全員に配り、レポーターに内容紹介とコメントを付けてもらうことも考えている。必要があれば、フェミニズム、精神分析学、脱構築などの批評方法論に触れ、そこで使用されている用語の解説も試みる。進度については、受講生の様子を見ながら判断する。 The Marble Faunについて。時間的制約を考慮し精訳を利用するが、重要箇所については原典をコピー印刷する。 受講者と担当教員とが共同作業で創りあげていく場として本講義を設定しているため、担当教員の方から講義的に上から語り下ろすことは、自重するつもりである。当日のレポーター担当者のみならず、多くの受講生の意見も聞き出したい。理想を言えば担当教員は司会にまわり、受講生同士で討論ができればよい。</p>			
<p>[成績評価の方法] 筆記試験は行わず学期末レポートとする。学期末レポートは邦文でかまわないが、英文による要約を求める。毎回出席をとるが、単位だけが欲しい場合は、全出席するに及ばない。教室で周囲を巻き込んでの私語に興じることになりかねず、本人にとっても本人以外の者にとっても不幸であるから。レポーターとしての発表等、授業への貢献度を高く評価したい。レポーター担当日は休まないようお願いしたい。</p>	<p>[参考文献] ① Hawthorne, Nathaniel. <i>The Blithedale Romance</i>. Penguin. 生協に発注予定。 ② <i>The Marble Faun</i>については、教室で指示する。 ③ 原川義一、並木信明 編『文学的アメリカの闘い：多文化主義のポリティクス』松松社。本講義を担当する佐々木がまとめて取り扱いに応じる。</p>			
<p>[教科書] ① Hawthorne, Nathaniel. <i>The Blithedale Romance</i>. Penguin. 生協に発注予定。 ② <i>The Marble Faun</i>については、教室で指示する。 ③ 原川義一、並木信明 編『文学的アメリカの闘い：多文化主義のポリティクス』松松社。本講義を担当する佐々木がまとめて取り扱いに応じる。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米のエッセイ (アメリカニズム再審) (旧応用英語講読)		後 期	2 単位	佐々木 英 哲
<p>[講義概要・学習目標] 1850年前後のアメリカ、ニュー・イングランドにおおむね焦点を定め、Emerson, Thoreau, Hawthorne, Melville, Whitman等を、文芸面で精力的に「アメリカ民主主義の可能性に貢献」したとして高く評価したが、ハーバード大学に在籍していたMatthiessenである。その後Matthiessenの衣鉢を継ぎ、「フロンティア形成」の観点からアメリカ文学に切り込んでみせたのが、Bercovitchである。Matthiessen, Bercovitchを頂点とするアメリカニズムは、上記の作家、思想家の作品を規範化した(canonize)文学観を構築し、結果的に文化的マッシュアップとしてアメリカ本国の教育機関のみならず、自戒を込めて言えば、欧米のアカデミズムにとっても無批判に盲従しがちな我が国のそれをも席捲することになった。知の領域においてもアメリカン・ヘゲモニーは貫徹するのである。ところが、女性学、文化多元主義、脱構築主義、新歴史主義が目を見張る収斂をあげた今日、アメリカニズムのリベラル・デモクラシーの背後に、Jamesonの標語を借用すれば「政治的無意識」と化した新権主義、反共マッカーシズム、セクシズム、レイシズムが潜んでいることがPease, Fisherを急先鋒とするニュー・アメリカニストらによって暴露される。 さて本講義では、Matthiessenに評価されるThoreauのエッセイ集Walden(1854)を取り上げる。Thoreauはインディアン(ネイティブ・アメリカン)のもつ知恵に敬意を払いつつ、一人、森の中で自給自足的に暮らすことで今日で言うエコロジスト的な実践をしながら、物質文明、機械文明、営利追求の資本主義社会に鋭い非難を浴びせ、Waldenを執筆した。また彼は、奴隷制反対の思想を貫くべく、人頭税の支払いを拒否し、牢獄に入れられたりもした。彼のスタンスは後にイギリスに対して非暴力・不従従の姿勢で臨んだインド独立運動指導者Gandhiに大きな影響を与えたとも言われる。にもかかわらず、Waldenからはネイティブ・アメリカン、アフリカン・アメリカンの存在が、そして彼の思想活動、政治実践を支えたと言われる女性達(母、姉妹)の存在が、奇妙にも擦り落ちていく、掻き消されている、といった印象が否めない。なぜか、この辺りを突破口にしてアメリカニズムの一角を突き崩すべく、Waldenにチャレンジしてみたい。なお読み進めていく過程で、Jackson大統領が1830年代に推し進めたインディアン強制移住政策、市場主義経済の基で形成される男性ジェンダー、その脆弱性と女性嫌悪症、移民(アイリッシュ)排斥運動の高まり、キリスト教に支えられた愛の精神から反奴隷性を訴えた女性、Stoweの感傷/お涙頂戴小説 Uncle Tom's Cabinと自由黒人を支援してアフリカに導くリベラル植民運動に通底する自民族中心主義、モンロー宣言に名を借りたアメリカ帝国主義などについても触れることになる。 予め断っておく。極力、質素な生活をする信条のThoreauは、骨太だが趣味そのものである。詩的麗麗さや小説的華やかさ、妖しい胸のときめきなどを求めるには不向きで、受講を勧めない。</p>	<p>[講義計画] ニュー・ヒストリシズム、カルチュラル・スタディーズの視点を導入してWalden(そして時間が許せばCivil Disobedience)を読んでみる。加えて、アメリカニスト及びニュー・アメリカニストの関連する論考(右記参考文献の①、②から該当箇所をコピー印刷して全員に配布する)を読む予定。 前者には全体の三分の二の時間が割り振られ、パラグラフ毎の要約、問題点の指摘、輪番制による精読が行なわれる。読む場所は前もって指定する。英語英米文学科に身を置く以上、英語で書かれたThoreauのエッセイを丁寧に読み進めていくことから私たちは作業を起こしていくことになるが、併せて全体を俯瞰する眼差しをもって読むことも忘れてはならない。 全体の三分の一の時間が使われる後者に対しては、レポーターが内容報告をし、コメントを付す。</p>			
<p>[成績評価の方法] 筆記試験ではなく学期末レポートを予定している。レポートは邦文でよいが、英文による要約を求める。英語により自らを表現する力を養って欲しいためであるし、仮初にも本講義で文化多元主義のパスパケティブを網の御旗として掲げる以上、英語により自らを主張できれば本講義の意義が半減するからである。レポーター等、授業への積極的参加度を評価する。毎回出席をとるが、単位だけが欲しい場合は全出席するに及ばない。教室で周囲を巻き込む私語に興じることもになりかねず、本人にとっても本人以外の者にとっても不幸であるから。</p>	<p>[参考文献] ① Powell, Timothy B. <i>Ruthless Democracy</i>. Princeton: Princeton UP, 2000. ② Matthiessen, F. O. <i>American Renaissance: Art and Expression in the Age of Emerson and Whitman</i>. 1941. New York: Oxford UP, 1968. ③ Bercovitch, Sacvan. <i>The Rites of Assent: Transformations in the Symbolic Construction of America</i>. New York: Routledge, 1993. ④ Pease, Donald E. ed. <i>National Identities and Post-Americanist Narratives</i>. Durham N.C.: Duke UP, 1994.</p>			
<p>[教科書] Bode, Carl, ed. <i>The Portable Thoreau</i>. New York: Viking, 1982</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米の映画（映画芸術の技法） （旧応用英語講読）		前 期	2 単位	出 原 博 明
[講義概要・学習目標] 現代の映画芸術について勉強します。 必要に応じて英米以外の国の作品も取りあげます。例えば、現代映画の技法や時間の問題は、ロシアのエイゼンシュテインやフランスのアラン・レネを抜きにして論じることは難しいでしょう。 人間の心理を映像で表現するのにどのような工夫が為されているか、シニールリアリズムと映画の関係、文学と映画の相互影響、などについてもお話しします。	[講義計画] 基本的には、理論をお話することとビデオによる映画鑑賞の二つを組み合わせながら授業をすすめていきます。 事情が許せば、ときには、クラス全員でディスカッションする機会をも持たたいものです。			
[成績評価の方法] 1回のテストと授業参加の積極度	[参考文献] 教室で指示			
[教科書] 無し				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語統語論 I（統語論入門） （旧英語学講読）		前 期	2 単位	清 水 真 一
[講義概要・学習目標] 本講では、英語の文の基本的な構造を作り出す仕組みを、「節」という単位を中心に論じる。節を構成するための基本的な考え方とどのようなものか、また基本的な道具立てとしてどのようなものが必要で、何が可能なかを探りたい。また、それらの道具立てを準備する中で人間言語を特徴付ける「局所性」に特に注目することにしたい。狭義の文法としての統語論に対する興味関心を醸成する一助となれば幸いである。出席はとくに重視する。	[講義計画] 1. 言語知識と「文法」 2. 項構造：主題構造/局所性と主題構造 3. 句構造：節とその構成素/語と範疇/句 4. 文法機能と格：代名詞と形態格/格フィルター/格付与と局所性 5. まとめ			
[成績評価の方法] 原則として、試験、クイズ、出席に基づいて総合評価をおこなう	[参考文献]			
[教科書] プリントを配布する				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語統語論Ⅱ（英語の統語現象） （旧英語学講読）		前 期	2 単位	清 水 真 一
【講義概要・学習目標】 本講では、英語における実際の統語現象を整理することから話しをはじめたい。そして、整理したデータに対してどのような分析が考えられるのかを模索してみたい。とくに疑問文、関係詞節、受身文を中心に若干の移動分析を提示する。なお、この作業の中で「局所性」という概念が移動ということとどのように関わり、また、それが文法構築の企てのなかでいかなる意味をもつのかを論じたい。出席はとくに重視する。	【講義計画】 1. 基本データの整理 2. 疑問文： 直接疑問文：yes-no疑問文/構成素疑問文 間接疑問文：yes-no疑問文/構成素疑問文 3. 関係詞節 4. 受身文と繰り上げ 5. まとめ			
【成績評価の方法】 原則として、試験、クイズ、出席に基づいて総合評価をおこなう。	【参考文献】			
【教科書】 プリントを配布する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
意味論（意味論の基礎概念） （旧英語学講読）		前 期	2 単位	林 宅 男
【講義概要・学習目標】 「意味論」は、語や文が表わす内容を研究する分野である。「意味」に関する研究には二つの大きな流れがある。一つは、記号論理学の成果を取り入れた形式意味論等に代表される「客観主義的意味論観」である。もう一つは意味を脳の精神作用の働きとの関係でとらえ、自己の経験に基づく主観的情報処理にかかわる問題であるとみなす「認知主義的意味論観」である。今回は、近年の認知科学の発展と平行して注目を浴びている後者の理論の基礎的内容を扱う。	【講義計画】 (1) 意味論の分野と立場の紹介 (2) 認知意味論とそのアプローチの特徴 (3) 範疇とプロトタイプ (4) 認知モデルの種類 (5) 範疇化モデルの種類 (6) イメージスキーマ (7) 認知文法 (8) メタファー理論 (9) メンタルスペース理論 (10) 構文研究 (11) まとめ			
【成績評価の方法】 出席、クイズ、課題、試験を総合的に評価する。	【参考文献】 1. 河上誓作（編著）「認知言語学の基礎」研究社、1996年 2. 山梨正明（著）「認知文法論」ひつじ書房、1995年 3. その他授業中に紹介する。			
【教科書】 1. 杉本公司（著）「意味論2」一日英対照による英語学演習シリーズ8 くろしお出版、1998年 2. プリント				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
語用論（語用論の基礎概念） （旧英語学講読）		後 期	2 単位	林 宅 男
【講義概要・学習目標】 文脈とは関係なく言語の意味を研究する「意味論」に対して、「語用論」は言語使用場面での意味を扱い、我々は言語を使ってどのように意志疎通を図るかに関するを研究をする分野である。近年この研究分野の領域は多岐にまたがり、単に文法事象の文脈の説明や発話意図の研究にとどまらず、言語使用における認知的、社会的、文化的側面を取り入れた学際的なものに発展している。今回は、従来取り扱われてきた研究領域の解説が中心となるが、最近の分野についても部分的に紹介する。	【講義計画】 (1) 語用論の領域について (2) 言語使用と文脈 (3) 文法研究と語用論 (4) 情報構造 (5) 直示性 (6) 発話行為 (7) 発話解釈の原理 (8) 認知的語用論 (9) 対人コミュニケーションにおける語用論 (10) 社会／文化研究における語用論 (11) まとめ			
【成績評価の方法】 出席、クイズ、課題、試験を総合的に評価する。	【参考文献】 1. ジェニー トーマス（著）田中典子他（訳）『語用論入門』研究社、1998年 （Jenny Thomas, 1995 "Meaning in Interaction: An Introduction to Pragmatics". London: Longman） 2. ヤコブ メイ（著）沢田治美、高可正夫（訳）『言葉は世界とどうかかわるか：語用論入門』ひつじ書房、1996年 （Jacob L. Mey, 1993 "Pragmatics: An Introduction" Oxford: Blackwell） 3. レビンソン（著）安井稔、奥田夏子（訳）、研究社『英語語用論』1990年 （Stephen C. Levinson, 1983 "Pragmatics" Cambridge: Cambridge University Press） 4. 橋内武 「デイスコース」くろしお出版、1999 5. その他授業中に紹介する。			
【教科書】 1. 高原脩、林宅男、林礼子（共著）『プラグマティックスの展開』勁草書房（近刊） 2. プリント				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学 I （親子問題） （旧英米文学特講IV）		前 期	2 単位	岡 田 章 子
【講義概要・学習目標】 人類普遍の問題である親子の問題を取り上げる。人間関係のなかでも特にむづかしい問題であり、私たちが悩ませる。これは社会が近代化すると一層複雑になる。本講義では成人した子どもとある程度年離れた親との関係にテーマを絞り、文学的側面から考察するのが狙いである。19世紀のイギリス詩人 William Wordsworth: "Michael" を中心に取り上げて、近代化をたどるイギリスの農村で親子のきずながいかに強く、また、いかにもろいものであるかを考える。親にとって我が子は常に希望の星であるが、成人した子供にとってその受け止めかたは複雑である。"Michael" に描かれる美しい田園と老羊飼いの生活と息子に託す希望、念願がかなわぬまま死んでいく老人の心をさぐりながら現代の日本の問題をも合わせて考える。年とってから授かった一人息子をふとしたことで都会へやらなければならなくなった。その前日老羊飼いは建築途中の小屋に石をひとつ置いて、息子と自分のきずなを固めようとする。しかし、年月の経つうち、息子は乱れた生活を送るようになり、やがては行方もわからなくなる。親子の結ぶつきがいかにむづかしいかを示している。時間があれば、Shakespeare: King Lear をも取り上げて、さらに悲劇的な老親と子供の問題を考察する。	【講義計画】 1. 親子問題とは 2. Wordsworth の生涯と生きた社会 3. "Michael" の鑑賞 4. King Lear の解説とビデオ鑑賞 5. まとめ			
【成績評価の方法】 テスト 平常点	【参考文献】 William Shakespeare 『リア王』（白水社） 小田島雄志 訳			
【教科書】 上島建吉編 『リリカル・バラッド 111—人と社会—』（研究社小英文叢書）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅱ（短編の魅力） （旧英米文学特講Ⅳ）		前 期	2 単位	中 村 祥 子
[講義概要・学習目標] 小説といえば本来は長編小説を指す。多くの人々に読まれてきた優れた長編小説は、面白い複雑な筋立てを通して、人間社会の様々な問題を明らかにし、それに対して鋭い洞察を加え、読者に自らの生き方を深く考えさせる。しかしその名の通り或る一定の長さを備えているので、長編小説の本当の面白さにはまるには、少々時間がかかる。 その点短編小説は、ストーリー展開のテンポが早く、読者はただちに作品の主題に到達できる。しかも優れた短編小説は、長編小説に劣らず、読者に社会や人生の様々な問題を考えさせる力を内包している。 この講義ではイギリスの代表的な5人の作家の短編小説をそれぞれ1編ずつ取り上げ、それらを今日の視点から論じ、ストーリーの面白さを味わいつつ、短編小説の真髄に迫ってみる。	[講義計画] 講義で取り上げる短編小説で扱われている問題は、恋愛、兄弟や親子の愛情、就職問題などである。それぞれの主人公たちがその問題でどういう経験をし、どう解決をしようとしていくかを具体的に見ていく。さらにその背景にある社会的諸問題を、作者がどのように捉えているかを分析していく。その核心の部分は原文で読む。			
[成績評価の方法] 前期末テストの成績、平常の成績の総合評価による。平常の成績には、出席状況の他、指示した読了文献をどれだけ真面目に読んできたかをも加味する。	[参考文献] 授業中に指示する。			
[教科書] Gaskell, Dickens, Hardy 他作 田中・横山註 Classic British Short Stories (成美堂)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅲ（ゴシック文学） （旧英米文学特講Ⅳ）		前 期	2 単位	日 下 隆 平
[講義概要・学習目標] ゴシックとは本来は寺院建築など建築に用いられたものであったが恐怖、畏怖の感情を生み出す文学を指すものに変化していった。イギリスではロマン主義にその要素がみられたのに対して、アイルランドでは少し異なりカトリック修道院や数多く残された廃墟の風景が適していたためか、早くからゴシック小説が書かれた。この授業ではゴシックの意味を学んだ上で、シェリダン・レ・ファニュー (Sheridan Le Fanu)等の作品からその特徴を探ってみよう。	[講義計画] 1 ゴシック小説とは何か。 2 エドモンド・パーク『美と崇高の起源について』 3 S.T. Coleridge, <i>The Rime of the Ancient Mariner</i> 4 Sheridan Le Fanu, <i>The Familiar</i>			
[成績評価の方法] 試験による。	[参考文献] 授業で指示する。			
[教科書] プリント配布				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅳ (女性問題) (旧英米文学特講Ⅳ)		後 期	2 単位	岡 田 章 子
【講義概要・学習目標】 女性問題は現代の重要な課題である。女性に関する問題には経済的自立の問題、教育や労働の機会均等の問題、家族の問題などが含まれる。本講義では女性問題のなかでも特に「女性の自立」という側面に焦点をあて、精神的、経済的自立を文学的立場から考える。女性の自立というといささか古めかしい感じがする。もはや自立しているのが当然という見解もあるかもしれない。しかし真に一生涯を通して自分で生き、自分で考えることはむつかしく、本当に達成している女性はそんなに多いとは言えない。ともすれば他者に依存しがちである。本講義では Charlotte Brontë: <u>Jane Eyre</u> を翻訳で読みながら、女主人公ジェーンの自立への道程を追う。孤児院に追いやられた不幸な少女時代から家庭教師となって自分の生活を開き、お屋敷の主人 Rochester に心ひかれて波乱に富んだ生涯を送るなかで当時の社会の古い常識に挑んでいく過程を学ぶ。これは19世紀の小説であるが、十分21世紀にも通用する問題を提起する。その上、読み物としての魅力も大きく、丹念な性格描写やゴシック的な雰囲気も見逃せない。Janeの生きる意欲、Rochesterの陰りのある魔力、美しい自然描写などは読者を引きつける。必要に応じて原文も参照して理解を深める。男女学生の積極的な学習と教室内での活発な発現を期待する。	【講義計画】 1. 女性の自立とは 2. ブロンテの生涯 3. ヴィクトリア朝のイギリス社会 4. 『ジェーン・エア』講読 5. 『ジェーン・エア』のビデオ鑑賞 6. まとめ			
【成績評価の方法】 テスト 平常点	【参考文献】 Charlotte Brontë: <u>Jane Eyre</u> . Ed. Richard J. Dunn. (Norton Critical Edition)			
【教科書】 C・ブロンテ 『ジェーン・エア』 (講談社文庫) 吉田健一訳				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
現代の諸問題と英米文学Ⅴ (理想の系姪女) (旧英米文学特講Ⅳ)		後 期	2 単位	小 野 良 子
【講義概要・学習目標】 シェイクスピアの喜劇『じゃじゃ馬馴らし』 <u>The Taming of the Shrew</u> のペトルーキオは、町一番のお嬢様カテリーナと結婚し、荒涼台で彼女を「従順な理想の妻」に変身させる。しかし、そもそも「理想の妻」とはどんな女性なのか？ 講義では、「女らしさ」、「男らしさ」、「良妻(賢母)」、「良き夫」をジェンダーの視点から検討し、「理想の結婚」を<脱コード>化する。	【講義計画】 講義では、テキストを読みながら、<ジェンダー>、<セクシュアリティ>、<アイデンティティ>をキーワードにして、「結婚」の言説を検討する。			
【成績評価の方法】 小エッセイ ― 毎回、講義後に提出 レポート ― 後期末に提出	【参考文献】 授業中に紹介			
【教科書】 W. Shakespeare, <u>The Taming of the Shrew</u>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語史 (旧英語学特講Ⅰ－英語史)		通 期	4 単位	野 原 康 弘
【講義概要・学習目標】 イギリスを旅してまわると、いろいろなところで、いろいろな民族が残したのを見ることができる。南西部のソーズルベリー平原には、ケルト民族（あるいは、それ以前の民族）の遺産「ストーンヘンジ」が今でも謎として残されている。スコットランドに近い北部を横断している「ハドリアヌスの城壁」は、約2千年前のローマ人の支配がいかに強かったかを見せている。「サクソン海岸」と呼ばれている頭部の海岸は、ゲルマン民族の侵略と征服を今に伝えている。「リンディスファーンの破壊された修道院の遺跡」はバイキングの侵略の激しさを物語っている。さらに辞書の上では、おびたしい数の「フランク語からの借用」が1066年以後、約300年以上のノルマン人の征服と支配を私たちに知らしめている。 このような外的な歴史の変化にともなって、英語という言語がもたらされ、それ自体も大きく変化してきたのである。したがって、この講義では「英語」という言語が外的な歴史と関連して、「英語」自体の内的な歴史をどのように展開してきたかを学ぶことになる。	【講義計画】 前期 1. 英語の祖先語 2. ケルト人の遺産 3. ローマ人による征服 4. ゲルマン人による征服 英語の始まり 5. 古期英語 6. バイキングによる侵略 7. ノルマン人による征服 後期 1. 中期英語前期 2. 中期英語後期 3. 近代英語の始まり 英国のルネッサンス シェイクスピアの英語 4. 近代英語後期 5. アメリカ英語 6. 世界の英語			
【成績評価の方法】 前期と後期の試験、レポート、出席	【参考文献】 McCrum, R. 1986. <u>The Story of English</u> その他の参考文献は授業中にそれぞれ指示する。			
【教科書】 最初の授業で指示する。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語文法論 (旧英語学特講Ⅱ－文法論)		通 期	4 単位	三 宅 亨
【講義概要・学習目標】 この講義は、原則として「英語の構造」を履修済みの学生を対象にして、さらに広く詳しく現代英語の文法規則を検討する。たんなる文法事項の理解にとどまらず、情報発信型コミュニケーションに役立つような知識を身につけるようなアプローチを試みる。 英語教員を目指す学生の受講を歓迎する。	【講義計画】 1. 文 2. 動詞 3. 時制 4. 助動詞 5. 名詞 6. 代名詞 7. 冠詞 8. 形容詞 9. 副詞 10. 態 11. 準動詞 12. 仮定法 13. 前置詞 14. 関係詞 15. 接続詞 16. 比較 17. 否定 18. 時制の一致・話法 19. 呼応 20. 特殊構文 21. 文の書き換え			
【成績評価の方法】 遅刻や欠席の多い学生には単位を与えない。前期・後期の定期試験はもちろんのこと、日常の学習参加への熱意と小テストやレポートなどに基づき、総合的に評価する。	【参考文献】 Quirk et al., <i>A Comprehensive Grammar of the English Language</i> . Longman, 1985 Biber, D. et al., <i>Longman Grammar of Spoken and Written English</i> . Longman, 1999 その他、テーマごとに指示する。			
【教科書】 綿貫陽・淀縄光洋・M.F. Petersen『教師のためのロイヤル英文法』 旺文社、1994年				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語音声学 (旧英語学特講Ⅲ－音声学)		通 期	4 単位	南 條 健 助
[講義概要・学習目標] この講義は、実践音声学を重視する英国学派音声学の伝統に従い、英語の音声を調音と知覚の両面から科学的に研究することを目標とする。 実践音声学とは、自分の耳で聞いた聴覚印象や、自分で調音した際の音声器官の状態や筋肉運動を知覚するといった自己観察に基づいて、音声を記述し分析する音声学の研究方法の一つである。したがって、この講義では、まず第一に、英語の音声を正確に聞き取ると共に、聞き取った音声を、個々の母音・子音ばかりでなく、そのつながり方や強勢・リズム・音調に至るまで忠実に再現し、発音した時に自分の舌や唇あるいは喉などがどのような動きをしているかを感じ取ることができる能力を身に付けてもらう。授業では、そのための音声学訓練にかなりの時間を割くことになる。また、そのような訓練と並行して、毎週少しずつ英語の音声理論を勉強していく。 なお、テキストは主として練習問題を利用するために用いることにし、口述が講義の中心となるので、受講生諸君は話を聞きながら各自でノートを取ることを求められる。	[講義計画] (詳しい講義計画表は授業中に配布する。) <前期> 1. 入門編 2. 強勢とリズム 3. 音調 <後期> 1. 母音 2. 子音 3. 音のつながり 4. 発展編			
[成績評価の方法] 定期試験 (50%)、発音テスト (20%)、提出課題 (20%)、出席状況や授業態度 (10%) を総合して評価する。なお、前期・後期それぞれ4回以上欠席した者には単位は与えられない。授業中、私語をする受講生は即座に退室してもらい、その日は欠席扱いとする。	[参考文献] 授業中に指示する。			
[教科書] 竹林滋・斎藤弘子『改訂新版 英語音声学入門』 大修館書店 1998年 (本体価格 2,200円)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語習得論 (旧英語学特講Ⅳ－英語教授法)		前期集中	4 単位	ケビン グレグ Kevin R. Gregg
[講義概要・学習目標] 言語学という科学は、特につぎの三つの質問に答えようとする： 1) 言語の知識は、どのようなものなのか。 2) その知識は、どのように獲得されるのか。 3) その知識は、どのように使用されるのか。 本授業は、その(2)に関するものである。われわれは、自分の母語に関して非常に複雑かつ微妙な知識をもっているが、その知識を、どうやって得たかを、説明しなければならない問題である。本授業では、子どもの母語(特に英語や日本語)の獲得過程のデータを考察しながら、提案されている諸説を考える。 つぎの点に注意してほしい： イ) 獲得を説明するために、何が獲得されるか(上の(1))を十分把握しておかなければならない。従って、学生諸君が文法論や英語の文法をすでに(ある程度)理解しているという前提に基づいて授業を行なう。 ロ) 本授業はあくまでも母語の獲得に関するものであり、外国語の学習に関するものではない。なおさら教育法とは、縁が全くない。	[講義計画]			
[成績評価の方法] 定期試験も小テストも行なう。なお、テキストを読むだけで済むと思っは大間違いで、出席して念入りにノートをとらなければならない。人数が許すなら、講義するよりもディスカッションを行なってもらいたい。	[参考文献] 松本裕治ら『言語の科学入門』(『言語の科学、1』) 岩波書店、1997 大津由紀雄ら『言語の獲得と喪失』(『言語の科学、10』) 岩波書店、1999			
[教科書] Steven Pinker (棕田直子、訳者) 言語を生み出す本能(上下) NHK Books (740,741) 1997				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語パブリック・スピーキング		通 期	4 単位	萬 戸 克 憲
【講義概要・学習目標】 <p>問題点に対し①論理的な思考をし、②説得したり、③その場で反駁したりが、英語のできる技能を身につける。 準備、発表など毎時間積極的な取り組みが必要。かなりきつい授業であるので、覚悟して受講してほしい。 この講義を通じて、英語で自由に自分の意見を述べたり、相手に反論できるようになることを期待している。 なお、下記テキストを購入し、次の課題について最初の時間に essay (B5版で3~5枚)を書いて提出することで受講を認める。 ①debate は discussion とはどのように違うか ②debate を通じてどのような力を身につけることができるか ③この授業にたいする私の期待</p>	【講義計画】 <p>1 前・後期を通じて、毎時2分間の英語でのスピーチを課す。 2 前期：debateについて基本から学習し、さまざまな問題について英語で自分なりの意見で討論できるようにする。 3 後期：debate（真剣勝負）を中心に授業を進める。</p>			
【成績評価の方法】 <p>授業への参加度 および speech 3 回以上の欠席は単位を認めない</p>	【参考文献】 <p>D.W.Klopf, et al. <i>The Bases of Debate</i> Sanshusha</p>			
【教科書】 <p>Y.Matsumura, et al. <i>Enjoy Debating</i> EICHOSHA</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英語ディスカッション		通 期	4 単位	ラウール セルバンテス Raou l Cervantes
【講義概要・学習目標】 <p>This class is for students who have advanced speaking, listening, and writing skills in English. I repeat, this class is for advanced English students – only. Each week there will be written reports which must be completed. Each class we will discuss – in English – the psychological content of current movies. We will explore emotions, behavior, and thoughts of the characters and how they interact with each other. In addition, students will write weekly reports on their lives, focusing on their personal relationships. Students who do not attend more than four classes during the year, or who do not complete more than four reports will not pass the course.</p>	【講義計画】 <p>The first film we will discuss will be Forest Gump. With this movie, we will discuss the influences of child abuse, physical challenges, social identity, and repeated life patterns.</p> <p>The next film will discuss will be American Beauty. With this film, we will discuss family problems, social identity, and communication.</p> <p>If there is time, we will discuss Ordinary People. With this film we will discuss depression, anxiety, and emotional problems in families.</p>			
【成績評価の方法】 <p>Students will be graded on the following: weekly homework reports Ability to discuss difficult topics in English</p>	【参考文献】			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英・日語翻訳法 (旧応用英語特講Ⅱ－英語翻訳法)		通 期	4 単位	柳 父 章
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>翻訳は英文和訳とは違う。どういう風に違うかという、翻訳はまず日本語でなければならない。英文和訳は、英語の勉強の必要上、教室内でつくられた特殊な日本語である。こういうことを、最初に講義する。</p> <p>それからあと、テキストの英文を、毎時間1ページくらい翻訳してきて提出してもらおう。これは毎時間の宿題である。そして、提出された翻訳を訂正し採点して、できれば次の時間に返却したいが、これは参加者が多くなると不可能になるだろう。</p> <p>目標は、翻訳することで、英文が精密に読み込めるようになり、また、日本語もしっかりと書けるようになること。</p> <p>毎時間自分の翻訳を提出しなければならないので、きっちり出席しないと合格できない。</p>	<p>[講義計画]</p> <p>まずテキストを中心に翻訳の勉強をする。毎時間翻訳する分は少ないが、おもしろそうで、かなりむつかしい文章を選んでみる。</p> <p>それから、いろいろなタイプの文の翻訳練習をするために、私が選んできた英文をコピーしてあらかじめ渡し、それを翻訳してもらおう。</p>			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>毎時間提出してもらった翻訳を採点し、その総合で評価する。期末試験はとくにおこなわない。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>私じしんの翻訳についての著書や論文があるが、それは随時授業の中で紹介していく予定である。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>Margaret Stawowy 沢登春仁 共著 New American Crossroads アメリカの街角 成美堂 1600円 (生協で販売)</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英・日語通訳法 (旧応用英語特講Ⅰ－英語表現法)		通 期	4 単位	遠 山 淳
<p>[講義概要・学習目標]</p> <p>正直に言えば、通訳者になるのであれば、TOEFL に換算して 600 点ぐらいはないと、他人のための通訳などとても望めない。通訳をするということは、他人の言語生活を、文化を超えて共有することである。適性の問題もある。日本語力、英語力、専門知識、教養、異文化・国際行動の常識、通曉性の高い発音、これらすべてが学習目標となるし、加えて通訳技法の習得である。このコースは英語学習のコースではなく、通訳法の入門コースである。</p> <p>技術的に少人数クラスでないとクラス運営ができない。最初の授業において実力適性試験を行う。LL教室を使用。</p>	<p>[講義計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに：「通訳法」と「通訳者」 2. アド・ホック通訳（日英）と逐次通訳（英日） 3. 逐次通訳法とメモ取り訓練（英日） 4. 簡単な同時通訳法訓練（英日） 5. 逐次通訳法を中心とする訓練 6. 模擬訓練と実力試験、などを随時行う。 			
<p>[成績評価の方法]</p> <p>学年末に行う実力試験（performance）で評価する。</p>	<p>[参考文献]</p> <p>授業中に紹介する。</p>			
<p>[教科書]</p> <p>使用しない。必要に応じてハンドアウトを配付する。学生は、メモ取り用の雑記帳と空テープを、毎回用意すること。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
キリスト教と英米文学 (旧英米文学特講Ⅴーキリスト教と英米文学)		通 期	4 単位	谷 本 泰 三
[講義概要・学習目標] 神と悪魔、信仰と疑惑、希望と絶望、従順と反逆、このような対極の間でバランスをとろうとする人間を描いた英米文学作品を取り上げる。その狙いは、英米文学史の底流となっているキリスト教思想や反キリスト教思想を検証して、キリスト教への理解を深め、優れた文学作品が思想に命を与える様子を見ることにある。作品から喜びや、恐怖、そして感動を体験して欲しい。講義は常に聖書に言及しつつ原作品に密着して行う。指示された作品の原典を予習しておくことが必須となる。講義の詳細なアウトライン（学習ガイド付き）を用意しておくのでそれに従って予習するように。		[講義計画] 1 序論 講義開始に当たって 2 E.E. Cummings "Buffalo Bill's defunct" 死を超えるイエス 3-5 Andrew Marvell "To his Coy Mistress" 生への空しい欲望 Emily Dickinson "How happy is the little Stone" Marvellの語り手の悩みへの答 6-8 Nathaniel Hawthorne "The Minister's Black Veil" 人間は罪の存在 9 John Milton "On His Blindness" 絶望から希望への信仰 10 William Wordsworth "We Are Seven" 永遠の命と無垢 11 Robert Frost "Stopping by Woods on a Snowy Evening" 現実と超現実の接点 12 George Herbert "Love" 罪を赦すキリスト/聖餐式の意味 Litany 聖餐式での連祷 13-21 William Faulkner "That Evening Sun" イエスの再臨/終末論		
[成績評価の方法] 前期 小論文 後期 期末試験 年間を通じて平素の努力点		[参考文献]		
[教科書] 聖書 谷本泰三(著)「学習ガイド・講義アウトライン」				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文学概論		通 期	4 単位	和 栗 了
[講義概要・学習目標] 文学とは何かという問いに対してひとつの解答を出すために、作品をこまかく、正確に、かつ想像力豊かに読む方法を講義する。文学とは言語による表現に依存しながらも言語では表現できないものを伝えようとするものである。この決定的な逆説のなかで読む行為をしなければならない読者には、必然的に読む技術が求められる。すぐれた文学作品とは個々の真理を表現するために最良の方法を選択したものだとなれば、表現されていないものを求めて言語表現を詳細に検討することが真理探究への道である。作者の選んだ言語表現を前にして、沈黙の言葉を読み取る方法を伝える。 この授業の目的は、文学作品をどのように読むべきか、その方法を各自で発見することである。		[講義計画] 第1回目の授業で詳しいシラバス等を配布します。		
[成績評価の方法] 出席とレポートによる。		[参考文献]		
[教科書] 第1回目の授業で指示します。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文学		通 期	4 単位	赤 瀬 雅 子
<p>〔講義概要・学習目標〕 近年、わが国では比較文学研究がますます盛んになってきた。比較文学は今世紀のはじめ、フランスにおいて始まった学問である。そして1960年代にひとつの頂点に達したものである。 この学問は文学研究の一方法であり、その意味では、例えばフランス文学研究等と同質のものであった。加えて同時代の外国文学の深い影響を考察するものであることが、厳守され、それに反する研究は比較文学とは見なされなかった。また古典の比較文学的研究も歓迎されなかった。 このような多くの制約から自由になろうとして起こったのがアメリカを中心とした対比的研究方法である。この方法から派生した比較文学と平行して比較文化を考察しようとする方法は意外な成果を生み、わが国においても比較文学・比較文化の研究が主流となってきた。 基本のアカデミックな比較文学の方法を紹介しながら、新しい対比研究の方法をも具体的に考察する。なお学会の先端で行われている影響研究と対比研究を併用した方法にも無理のない範囲で触れてゆきたい。</p>	<p>〔講義計画〕 現在、わが国の多くの大学で比較文学の講義を担当している多くの研究者が大学生のために書き下ろした数編ないし十数編の論文に触れながら、比較文学・比較文化を学ぶ楽しさを引き出して行く。コスモポリタンなものの考え方をすることの大切さを常に意識したい。</p>			
<p>〔成績評価の方法〕 前期末に提出するレポートと、学年末の試験とのふたつが重要であるので、どちらも欠かさないようにしていただきたい。出席率をよくすることも大切である。成績評価はそれらの総合によってなされるものである。</p>	<p>〔参考文献〕 富田仁・赤瀬雅子著『明治のフランス文学』（駿河台出版社）</p>			
<p>〔教科書〕 松村昌家編『比較文学を学ぶ人のために』（世界思想社）</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
英米の童話と童謡 (旧英語英米文学特講－英米の童話と童謡)		後期集中	4 単位	藤 森 かよ子
<p>〔講義概要・学習目標〕 (目標1) 英語圏の文化／文学資源の主な二つは、「聖書」と「シェークスピアの劇」と「マザーグース」です。これらを知らないと、新聞の見出しや小説や映画や劇やポップスの題名や台詞や、広告のコピーの本質の面白さがわかりません。なぜならば、現在でもこれらの文化／文学資源のリサイクル、ハロディは盛んになされているからです。本講義では、「マザーグース」と総称されている800あまりの伝承童謡群のうち、特に親しまれてきた70編を学びます。英詩の基本的構造や韻律も、童謡から学べます。童謡は庶民の歴史の反映でもあり、ラップに見るように現代の大衆文化の源流でもあります。 (目標2) 20世紀後半に生まれ育った人間にとって、「童謡」とはディズニアニメです。童謡は単なるガキ向け物語ではありません。幼少期からマインドコントロールをほどこす強力なイデオロギー伝播装置です。ディズニアニメは、アメリカ／西洋中心主義の政治幻想伝播装置でもあります。『シンデレラ』によって脳汚染された女性、『ヒーターハン』によって女性依存症にかかった男性は多いでしょう。ディズニアニメを通して「童謡」の危険性と可能性について考えます。</p>	<p>〔講義計画〕 後期集中週2回の講義 第1週 講義内容説明：童謡／『ビデオで楽しむマザーグース』歌番1～3 第2週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番4～12 第3週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番12～20 第4週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番21～29 第5週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番30～38 第6週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番39～47 第7週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番48～56 第8週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番57～65 第9週 『ビデオで楽しむマザーグース』歌番66～70 第10週 講義内容説明：童謡の危険性／ディズニアニメと童謡の横領 第11週 ディズニアニメの変遷：ジェンダー 第12週 ディズニアニメの変遷：多文化主義 第13週 まとめ／童謡の可能性</p>			
<p>〔成績評価の方法〕 出席（受講生は毎回の講義で質問票を兼ねたコメントヘーハーを提出します）と年度末試験の内容から、判断します。</p>	<p>〔参考文献〕 参考文献リストは最初の講義時に配布します。</p>			
<p>〔教科書〕 『ビデオで楽しむマザーグース』安藤幸江編（北星堂、1997年） テキストは、必ず購入してください。毎回の講義中にプリントも配布します。 受講生には、テキスト収録童謡のテープが配布されます。Enjoy!</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ギリシア語		通 期	4 単位	山 川 偉 也
西欧文化の根源をある程度深く知ろうとすれば、ギリシア語の知識が不可欠となる。この授業は西洋文化、ギリシア文化を地道に学びたい人のために開講される。				【講義計画】 テキストに沿って漸進的に行われる。
日頃の学習態度および前・後期の試験による。				【参考文献】
【教科書】 田中美知太郎・松平千秋『ギリシア語入門』岩波書店				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
ラテン語		通 期	4 単位	木 下 昌 巳
【講義概要・学習目標】 ラテン語は、古代ローマ帝国の公用語であったが、現代では日常生活においてラテン語を使っている人は少ない。その意味において、ラテン語はいわば死語であり、海外旅行に行ってもそれを使う機会はない。しかし、ラテン語で書かれた著作は、古典ギリシアの著作とともに、西欧の人文主義的な伝統の基礎となったものであり、そこに含まれている思想は西欧文明の精神的源泉であると言える。さらに、現代使われている英語やフランス語などの現代語は、ラテン語の子孫・親戚というべき関係にあり、ラテン語を学ぶことによって英語・フランス語などの視野も大きく広がるだろう。このような言語に触れることができるのは、いわば大学生の特権であり、広く言葉に興味のある人の受講を歓迎する。言うまでもなく、ラテン語に限らず言葉の習得には、繰り返しの練習が不可欠である。区切りごとにおこなう小テストによって成績を決定するので、単位だけを目当てにしてこの授業を選択すると後悔することになるだろう。			【講義計画】 テキストにしたがって演習形式で問題を解いてゆき、区切りごとに小テストを行う。	
【成績評価の方法】 小テストの成績による				【参考文献】
【教科書】 講談社現代新書 大西英文 著『はじめてのラテン語』				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
貿易実務		通 期	4 単位	桜 井 勝 友
【講義概要・学習目標】 産業空洞化による日本の構造的就職難を恨んでみても始まらない。積極的打開の道は国際貿易の場の中にしか残されていない。21世紀の主役になる当学の学生諸君はこの実情を認識し、海外で大いに活躍出来る人材にならねばならぬ。扱う商品や取引形態の如何を問わず、貿易実務の基礎知識なしに海外に飛び出すのは、海図なしに航海に乗り出すのに等しい。その基礎知識の習得をこの学習の目標とする。 英語（特に商業英語）の能力は当然要求される故、その講義の履修または積極的自習をお願いする。		【講義計画】 日本の国際貿易取り引きの現状認識 取引先の開拓、調査、及び選定 取引形態の決定 具体的商談開始（取り決めるべき諸条件） 契約の締結 契約の履行（「物の移動」及び「金の移動」） 保険の基礎知識 外国為替の基礎知識 クレームその他問題発生とその対処 三国貿易の促進と要求される人材		
【成績評価の方法】 前・後期期末試験成績、出欠状況、受講態度（積極性）。		【参考文献】 特外ブック「貿易実務」来住 哲二 編 七訂版 （有斐閣ブックス） 【新】実用英語ハンドブック 加藤 正 主幹 （大修館書店） 「マンガ貿易入門」 宮下 忠雄著 （サンマーク出版）		
【教科書】 「貿易実務」グローバル ビジネス時代の貿易取引 大塚 朝夫 監修 （成美堂）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
マスコミの英語		通 期	4 単位	大 橋 襄
【講義概要・学習目標】 マスコミの英語は、世の中の激しい動きを即座に伝えていくものだけに、生き生きと躍動しています。独特な言い回しや表現を用い、時には文法や構文のルールを逸脱します。この授業では最新の英語の新聞、雑誌、放送など教材に用い、ホットなニュースを読んだり、聞いたりしながら興味をもって学習できるようにしていきます。もちろん基本的なことも、教科書などを通じ学んでいきます。しかし忘れてならないことは、英語の知識と同時に、ニュースで扱われている問題の本質や背景などの知識、そして豊富なボキャブラリー（英語とともに日本語も）を身に付けることなのです。そして「マスコミの英語」に数多く接していけば、英語の新聞、雑誌などへの拒絶感が次第に薄れ、親しみを感ずるようになるでしょう。それが、この授業の目的です。		【講義計画】 （前期） 日本や海外の英字新聞、雑誌、放送、通信などの概説からはじめ、その内容（ニュース、論説、解説など）、記事の構成を学び、またそれらに用いられている特有の語法、文体、表現など、“生の”教材に触れながら授業を進めていきます。さらに、問題の理解を助け、深めるため、時事的な知識も同時に学びます。 （後期） 前期と同様、随時、最新の新聞などを教材としつつ、授業を続けていきます。		
【成績評価の方法】 学年末の試験を最終評価とします。 また、授業時などにおけるテスト、レポートのほか、出席状況や学習態度も評価に加えます。		【参考文献】		
【教科書】 未定				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（日本文化） （旧 日本文化研究Ⅰ）		通 期	4 単位	佐賀 朝
[講義概要・学習目標] 「浮世絵の社会＝文化構造」と題し、何人かの著名な浮世絵師の作品を取り上げながら、日本の民衆的文化を多彩な形で創造した近世（江戸時代）の巨大都市・江戸の社会をのぞく。 文化の表層をなぞるのではなく、文化をつくり出す基礎となった社会そのものの構造にもメスを入れる形で「江戸」の文化創造力の源泉に迫りたい。 本講義では、まず歌麿・写楽・北斎などの作品について、作品論的な観点から考察をくわえる。その上で、彼らの作品を成立させた社会的な背景を探るべく、浮世絵の画題となった江戸の多様な社会＝空間や文化現象について論じていく。具体的には、芝居興行、遊廓、両国（盛り場）、講中、町火消、若者仲間などを取り上げる。 こうした作業を通じて、日本文化を社会史的な観点から研究していく方法の基礎を学ぶとともに、社会構造分析と結びついた文化研究の新しい可能性を探ってきたい。	[講義計画] 写楽の役者絵と芝居の世界 写楽の第一期作品について／寛政期の芝居興行と江戸・上方／芝居地の社会構造 広重名所絵の虚像と実像 広重名所絵の虚構性／両国一名所の社会構造－ 歌麿の美人画と吉原 歌麿「北国五色墨」について／新吉原と仮宅 北斎「富嶽三十六景」と江戸の富士信仰 北斎の作画変遷と「富嶽三十六景」／江戸の講中 国芳と江戸の民衆世界 奇想の絵師・国芳／町火消と若者仲間／錦絵の社会＝文化構造			
[成績評価の方法] 出席、レポート、定期試験などにより総合的に評価する。	[参考文献] 浅野秀剛・吉田伸之編『浮世絵を読む』1～6（朝日新聞社、1997～98年）			
[教科書] 必要な資料は授業のなかで随時、配付する。	その他、授業のなかで随時、提示する。			

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（韓国・朝鮮文化） （旧韓国・朝鮮文化研究Ⅱ）		通 期	4 単位	チョン ソンヒ 田 星 姫
[講義概要・学習目標] 現代の韓国・朝鮮人の精神・生活の基本をなしている事柄を取り上げ、その歴史的背景を理解するとともに、韓国の歴史や地理に関する基本的な知識を習得する。 韓国・朝鮮文化の伝統的文化や生活スタイルと思われるものの多くは、16世紀以降にはじめて形成されたものであるが、それが社会全体に普及していくのは18世紀以降のことである。授業では、主に朝鮮時代を扱うが、現代韓国の社会や生活もあわせて紹介したい。視聴覚教材を使用。	[講義計画] 1 朝鮮という名称について 2 領土の変遷 3 ハングル文字と世宗時代 4 生活文化（衣服） 5 生活文化（食生活） 6 生活文化（住まい） 7 教育・身分制度 8 年中行事 9 朝鮮時代における女性の生活 10 壬辰倭乱（文祿・慶長の役） 11 近世の日朝友好関係（朝鮮通信使） 12 朝鮮時代の日本に対する認識 13 英祖・正祖時代と現代 14 実学の風潮 15 パンソリの歴史（伝統芸能）等々。			
[成績評価の方法] 期末試験とレポート評価。	[参考文献] 伊藤亜人他編『朝鮮を知る事典』平凡社 『韓国小学校歴史地図帳』 石渡延男他訳『入門韓国の歴史』（国定韓国中学校国史教科書）明石書店 その他、授業中、紹介する。			
[教科書] 『朝鮮王朝常識旅行』（印刷教材・田星姫訳）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（中国文化） （旧中国地文化研究Ⅰ）		通 期	4 単位	フィリップ ビリンスリー Philip Billingsley
【講義概要・学習目標】 中国 — 遠いと思えば上海までわずか2時間、近いと思えばどげなしでは行けない。行けば理解できないことばかりで、心を揺さぶられる。第一印象で反感を覚えても、時間が立つうち愛着が深まる。「共産主義国家」かと思えば、「資本主義国家」日本に負けず劣らずみんな金儲けに必死。60年代に国家主席を引き倒すことまで政治の舞台上で活躍していた若者はいま、昼間は株の売買をし、夜はクラブで踊りまくる。「革命運動輸出」で恐れられていた中国共産党はいま、「愛国的カラオケソング」を強制する。謎の上にはまたなぞが重なる。だからこそ放っておけない国なのだ。 講義では、堅苦しい教壇からのお説教スタイルをなるべく避けるつもり。その代わりに映画、テレビ番組などをフルに活用し、古来からの社会と文化にも触れながらいまの中国の複雑な現実を理解してもらえよう努める。使用する言語は主に日本語だが、ときには母語である英語を披露することもありうる。尚、受講生の積極的な参加（講義中の質問タイム、定期的なレポート提出や小テスト、そして（もちろん）出席）を厳しく要求するのでそのつもりで受講して下さい。 目標は主に二つ。一つは3年次以後の専門演習に進むための中国に対する基礎知識と理解を与えること。もう一つはそのような理解を身につけて、「中国へ行ってみよう」という気持ちになってもらうこと。	【講義計画】 未定			
【成績評価の方法】 定期的な宿題（感想文）、小テスト、期末試験、及び出席率	【参考文献】 授業中に配布する			
【教科書】 なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（東南アジア文化） （旧東南アジア文化研究Ⅰ）		通 期	4 単位	深 見 純 生
【講義概要・学習目標】 この講義の目標は東南アジア地域研究のための基礎的な素養を身につけてもらうことである。同時に、東南アジアに限らず<地域>というものを捉える視点と<地域研究>というものについても話したい。 <地域研究>には<現地体験>つまり現地社会に入って人々の暮らしと文化を観察することが必要である。教室では不可能だが、せめてビデオでこれをやってみよう。ただしビデオは誰かが<編集したもの>であることに注意しなければならない。地域研究にはまた<地域特性>つまりその地域の特徴とその背景の把握が大事だが、東南アジアではこれがけっこう難しい。多様性、生態適応型、地域統合志向の出現といったことから出発しよう。 なお広く東南アジア全域を対象とするが、細かい点では私の専門との関係で、地域的にはインドネシア、学問的には歴史学に傾きがちである。	【講義計画】 1. 世界のなかの東南アジア アジアとヨーロッパ／世界のなかの東南アジア 2. 東南アジアの多様性の現状と背景 地理／10国の現況／言語・民族／宗教／歴史 3. 東南アジアという地域の成立論理 国際政治の論理／文化的視点 4. 東南アジアを括る論理を求めて 生態学（島の熱帯）／社会学（小人口社会）／ 文化学（基層文化と外来文化）／政治学（権力の強さと弱さ）			
【成績評価の方法】 時々的小レポートと期末試験の成績を総合する。	【参考文献】 京都大学東南アジア研究センター編『事典東南アジア 風土・生態・環境』弘文堂 1997 (桃図R292.3) 綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいインドネシア』弘文堂 1995 (桃図ST292.4) 上智大学アジア文化研究所編『入門東南アジア研究』めこん 1992 (桃図A223) 土屋健治・加藤剛・深見純生編『インドネシアの事典』同朋舎 1991 (桃図R292.4) 小池誠『インドネシア 島々に織り込まれた歴史と文化』三修社 1998			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（西南アジア文化） (旧西南アジア文化研究)		通 期	4 単位	今 澤 浩 二
【講義概要・学習目標】 今日、西アジアにおけるイスラーム過激派のテロ事件が頻繁に報道され、しかも、その残忍さが強調されるきらいにある。しかしながら、パレスティナ問題をはじめとする、そうした報道内容は、実は無知と偏見に満ちているのである。イスラーム成立以降の西アジアは、多くの人がイメージするような野蛮で暴力的な地域では決してない。それどころか、長きにわたって世界最高の文明を発達させ、ヨーロッパ、アジアをはじめとする周辺地域に大きな影響を及ぼし続けた、世界史上きわめて重要な地域なのである。現代における欧米の繁栄は、イスラーム文明との接触なくしてはあり得なかったといっても過言ではない。 近年、世界情勢を的確に把握するためにも、イスラーム世界に関する正しい知識が求められている。そこで本講では、イスラームの社会や文化を正しく理解する上で不可欠な、イスラーム成立以降の西アジア地域の歴史を概観する。特に、欧米との交渉を視野に入れて19世紀以降の近現代史に重点を置き、世界におけるこの地域の重要性を考えたい。		【講義計画】 序 西アジアとはどこか 1. イスラーム世界の成立 2. イスラーム世界の発展 3. トルコ民族の登場 4. オスマン帝国の成立 5. オスマン帝国の最盛期—コンスタンティノープル征服～ウィーン包囲— 6. サファヴィー朝の繁栄 7. 「西洋の衝撃」とイスラーム世界 8. オスマン帝国の衰退と滅亡 9. 現代のイスラーム世界		
【成績評価の方法】 学期末試験、および夏休みの課題レポート。		【参考文献】 本田實信『イスラーム世界の発展』（《ビジュアル版》世界の歴史6、講談社） 鈴木董『オスマン帝国』（講談社現代新書） ※その他の図書については、講義中に随時、紹介する。		
【教科書】 特になし。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（アメリカ文化） (旧アメリカ文化研究Ⅰ)		通 期	4 単位	大 井 映 史
【講義概要・学習目標】 ルネサンスの人文主義と宗教改革思想の伝播は西欧列強に領土拡大と世界支配の野望を、中世キリスト教世界に抑圧された人々には新しい自由と「約束の地」たる新大陸への憧れを抱かせることになる。アメリカとは、「夢にも勝る冒険とロマン」の世界だった。それが理想郷の建設であれ一攫千金の野望であれ、あるいは単なる逃避行であれ、新大陸の未開の荒野に人々は最後の希望を託したのだ。君主制の下、民族主義のしがらみに拘束されずに個人の願いを叶えるための自由という、アメリカン・ドリームである。アメリカの独立宣言は、すべての人間に生得の権利として平等に与えられた自由と幸福の追求を保障する。しかし、王制を廃する個人主義的理念がどんな国家を成立させ得るのであろう。史上初の民政政体がその発端に矛盾を抱えたことは明らかなのだ。州の自治を尊重すれば連邦政府が弱体化する。アメリカ的自由は、資本主義と大量消費文明を許容し、今や世界がアメリカの登録商標に埋め尽くされている。新世紀のアメリカがどこへ行くかは、地球に生きる仲間たちすべての命運を左右する問題なのである。		【講義計画】 前期：さ迷える多民族国家、20世紀アメリカに見る矛盾 1 「アメリカン・ビューティー」に見る自由と幸福の追求 2 「スモーク」に見るアメリカの家族 3 ユートピア小説（SF）が描く近未来：「マトリックス」、「ブレードランナー」 4 産業革命と移民の流入、国籍の喪失(The Roaring 20s) 5 二つの世界大戦と女性解放運動 6 ヴェトナム戦争と公民権運動：ケネディとキング 7 カウンター・カルチャー：ホームレス、ヒッピーとアメリカン・フォークソング 8 冷戦の終結とアメリカのその後 後期：建国の理念を歴史的に読もう 1 ジャンヌ・ダルクとキリスト教の伝統 2 ルネサンスから『市民政府二論』へ 3 植民地時代：「ラスト・オブ・モヒカン」 4 独立戦争とアメリカ建国の理念 5 ヨーロッパ人の描いた世界：ユートピア建設の夢 6 アメリカン・ルネサンスの作家たち 7 南北戦争と奴隷解放：「グローリー」 8 映像の世紀、ヴァーチャル・リアリティ		
【成績評価の方法】 年度末締切りの小論文：60％ 映画などについての授業中のクイズ：40％ 討論への参加：ボーナス・ポイント		【参考文献】 濱田政二郎、『ユートピアとアメリカ文学』、研究社 ランダル・スチュアート、『アメリカ文学とキリスト教』、北星堂書店 ニコラス・レマン、『約束の土地：現代アメリカの希望と挫折』、桐原書店 アリスティア・クック、『アメリカ史』、NHKブックス *その他、授業に沿って紹介する。		
【教科書】 配布するプリントのほか、各自、研究課題に即した文献その他、資料を収集し、少なくとも一冊を選んで自分の教科書とすること。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（イギリス文化） （旧イギリス文化研究Ⅰ）		通 期	4 単位	伊 藤 高 章
【講義概要・学習目標】 現代の「英国」は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドからなる「連合王国」であり、政治経済的・文化的に多様な要素を内包している。宗教的にも異なる伝統が共存している。王室の君臨する国であると同時に、議会制民主主義の発祥の地でもある。人々の気質は内向的でありながら、帝国主義植民地支配を長期にわたって行った。近代資本主義の誕生の地とも言われる。イギリス文化を単純に語ることは許されない。 本講義では前期において、産業革命を経て世界の最先端を走り、同時に近代社会の問題性を一番先に経験した英国の社会を、歴史をさかのぼって概観しつつ、イギリス文化の諸側面を検討する。 後期は、学生による研究発表を中心とする。	【講義計画】 イギリス思想の特徴を把握すると同時に、イギリス近代史の様々な出来事と思想との関連を検証する。特に以下の項目に関心を持つ イギリス宗教改革・重商主義・植民地支配 階級社会・経験論・功利主義・福祉社会 前期後半に、類似する関心を持つ受講者でグループを作り作業分担をした上で、休暇中に自主研究をする。後期にグループごとの研究発表をし、学年末にグループごとの研究報告を提出する。			
【成績評価の方法】 前期に提出のブックレ・ホート 2～3本 夏休みに作成の小論文 後期におけるグループでの研究発表	【参考文献】 八代 崇（編）『英国の心樞』聖公会出版			
【教科書】 長島伸一『大英帝国―最盛期イギリスの社会史』 講談社現代新書 937				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（イタリア文化） イタリア人の体験 （旧イタリア文化研究）		通 期	4 単位	米 山 喜 晟
【講義概要・学習目標】 1. イタリア人は、まずローマ史という長い栄光の過去を抱えている。 2. それから中世を経て、ルネサンスという、もう一つの大きな輝かしい記憶を持っている。 3. 最後に近現代のイタリアという、現在の生活の基本条件となるイタリアの歴史がある。 これら三つの時代を概観して、イタリア史の基本的な知識を学生諸君に伝えたいというのが、本講義の欲張った目標である。	【講義計画】 [前期] ローマ史と中世からルネサンスのイタリア史を語る。 [後期] ルネサンス末期から近現代のイタリアを眺める。			
【成績評価の方法】 レポートと期末テストによる総合評価。	【参考文献】 G. プロカッチ『イタリア人民の歴史』I・II, 未来社 藤澤道郎『物語 イタリアの歴史』（中公新書）、中央公論新社			
【教科書】 イタリア地方文化理解のための歴史年表（プリント配布）				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（ドイツ文化） (旧ドイツ文化研究)		通 期	4 単位	高 田 里 恵 子
【講義概要・学習目標】 この講義の名称には「ドイツ文化」という言葉が付いています。しかし、果たして「ドイツ」あるいは「ドイツ文化」などという実体があるのでしょうか。選れてきた国民国家である「ドイツ」は、「ドイツとは何か」「ドイツ的なものとは何か」と問い続けながら、ついにナチズムに到達しました。講義では様々なテーマを取り上げますが、つねに根本には、ドイツ文化や日本文化といった言い方の背後に、どのように近代のナショナリズムが張りついているかという問題意識があります。 基本的な知識とともに、通りいっぺんの「常識」にとらわれない、物事の見方・考え方を身につけることが、授業の目標となるでしょう。	【講義計画】 1. 啓蒙とナチズム 2. ファシズムの心性 3. ドイツと教養 4. ドイツ青年運動 5. 日本の教養主義への影響			
【成績評価の方法】 夏休み終了後にレポート提出。 後期は試験を行いません。レポート・試験ともに、講義の内容が正しく理解できているかどうかを問う課題を出します。	【参考文献】 授業中に指示する。			
【教科書】 教科書は使用しない。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
国際文化基礎研究（ロシア文化） (旧ロシア文化研究)		通 期	4 単位	国 松 夏 紀
【講義概要・学習目標】 ユーラシア大陸の北方に偏ってヨーロッパからアジアに広がるロシアは、感覚的には中国とEU諸国との間に孤立してイメージされている。我々は、古来中国との縁が深いし、近來は欧米との交渉密である。ロシアは、その間に落ち込むようにして、また「崩壊後」の「混乱」もあって、判り難さを増大させている。 本講は、このようなイメージ（偏見）を検証しつつ、本来あるがままの或いはあるべきロシアとその文化を把握することを目標とする。ロシアとその文化は、ヨーロッパ及びアジアとの絶えざる接触・交流の中で自らを形成した。その過程を、歴史・文学・宗教・美術・音楽・演劇等の諸相にわたって順次考察する。 逆説的ではあるが、ロシア文化の独自性は異文化の受容に発するのであり、また、独自性の獲得によって初めて、国際的普遍性への道が開かれる。各種視聴覚教材も活用し、出来るだけ具体的にロシアにアプローチする。	【講義計画】 <前期> I. ロシアのイメージ：アジアとヨーロッパの狭間で II. ロシアの歴史：規範と逸脱をめぐって III. 日露交渉史概説：「領土問題」の淵源 IV. ロシアの文学：独自性と世界的普遍性 <後期> V. ロシアの宗教：ロシア正教 vs. ローマ・カトリック VI. ロシアの美術・音楽：民族芸術とのかかわり VII. ロシアの映画：映画先進国としてのロシア VIII. ロシアの舞台芸術：ロシアのヨーロッパ制覇 * 前期・後期ともに、各項につき2～3講の予定。ただし、講義の流れに応じて、若干の計画変更はあり得る。			
【成績評価の方法】 前期末と学年末のレポートにより評価します。力作を期待。ただし、講義の区切れ目ごとに確認のためにも「感想文」を提出。これも評価の対象とします。	【参考文献】 授業中に、随時指示します。			
【教科書】 特に定めません。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文化概論	01 02	4単位 4単位	通 期 通 期	小 林 信 彦
【講義概要・学習目標】 <p>人間の暮らしに便利さをもたらすアイデアは、容易に異文化圏から取り入れられる。しかしながら、人間の生き方を根本のところまで規制する原則は、簡単に取り替えが効くものではない。古代の日本に仏教が伝わったと言われるが、はたして日本人は従来の世界観に替えて異文化圏の世界観を採用したのであろうか。そういうことが起こるには、インド文化と日本文化とのギャップが大き過ぎた。</p> <p>この授業では、仏教に対処した古代日本人の発言に着目し、これを仏教文献の記述と比較することによって、日本文化とインド文化の決定的な違いを浮かび上がらせたい。そして、この作業を通じて比較文化研究の方法を提示したい。</p>	【講義計画】 <p>一度にあまり多くの事象を取り上げようとする、不要な混乱が生じる恐れがある。そこで、まず一点を深く掘り下げた後で、それに関連する多くの事象に触れる。「狭い問題を取り上げて広い知識を与える」という方法で授業の成果を上げたい。教室で扱う資料はそのつど複写で配布する。</p>			
【成績評価の方法】 <p>① 一つの課題を終えるごとに授業内容の要約を提出させる。 ② 前期の終わりと学年末に試験を行う。</p>	【参考文献】 <p>必要なものは複写して配布する。</p>			
【教科書】 <p>なし。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語学概論		通 期	4 単位	林 宅 男
【講義概要・学習目標】 <p>言語学とは言語の本質、構造、使用の規則等を科学的に研究する学問である。その研究内容や方法は多様で関連領域も広く、近年特に急速に発展を遂げてきたが、それが共通に目指しているところは言語を通しての人間そのものの理解であると言える。このことを念頭におきながら、本講義では、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、といった狭い分野にとどまらず、動物言語研究、社会言語学、言語習得論、文体研究、非言語コミュニケーション論を含む幅広い範囲にわたって、最近の動向を含めて出来るだけ分かりやすく紹介したい。更に、我々に最も身近な言語である日本語については、別にその諸相を解説する。ここで扱うのは何れも言語学の概観であるが、その知識、ものの考え方、研究方法が、言語学研究のみならず、人間や人間社会についてのより深い理解や、思考の錬磨につながることを願う。</p>	【講義計画】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「言語学」とは何か 2. 動物の「ことば」と人間の言語（動物言語研究） 3. 比較言語学（言語の起源と世界の言語属） 4. 言語音の体系（音声学・音韻論） 5. 語の構造（形態論） 6. 文の構造（統語論[生成文法]） 7. 言葉の意味と運用（意味論・語用論） 8. 言語と社会（社会言語学） 9. 言語とこころ（言語習得論・言語心理学・言語人類学） 10. 言葉によらないコミュニケーション（非言語コミュニケーション論） 11. 日本語の諸相 12. 言語と文学（文体研究） 			
【成績評価の方法】 <p>授業態度、レポート、試験を総合的に評価する。</p>	【参考文献】 <p>（ほかの入門書） ジョージ・ユール（著）今井邦彦・中島平三（訳）『現代言語学20章』大修館書店、1996 中島平三・外池滋生『言語学への招待』大修館書店、1994 ジーン・エイチソン（著）田中春美 ほか（訳）『入門言語学』、金星堂、1998年 ベン・クレインほか（著）新長 馨（訳）『言語学概論』、北星堂、1999 小泉保（著）『日本語教師のための言語学入門』大修館書店（用語解説） 田中春美 ほか（編）『現代言語学辞典』成美堂、1988 （個別テーマの参考文献については、授業で指示する）</p>			
【教科書】 <p>石黒昭博 ほか（編）『現代の言語学』金星堂、1996年</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
地域文化概論	01 02	通 期 通 期	4 単位 4 単位	今 澤 浩 二
【講義概要・学習目標】 <p>イスラーム時代の西アジアにおける最大の帝国であるオスマン帝国に関する最古の史料は、アリストテレスが弟子アレクサンドロス大王に語った予言という体裁をとっている。これは、イスラーム世界に古代ギリシア文化を継承し発展させるという伝統が古くからあったためである。このようにイスラーム世界は、ギリシア・ヘレニズム・オリエントといった地域・時代をこえた諸文化を受容し、それにみずからの伝統文化をも融合して、きわめて高度な文化を築きあげたのであった。</p> <p>本講では、時々ビデオ・スライド等を利用してしながら、西アジア地域で発達したイスラーム文化の諸相を考察する。さらにそれを通じて、この地域が世界史、特にヨーロッパ史に及ぼした影響についても考えたい。これはまた、別の角度からヨーロッパを見つめ直すことにもつながるであろう。こうして、西アジアの社会・文化や、世界における当該地域の占める位置について理解を深めてもらいたい。</p>	【講義計画】 <p>序 古代ギリシア文明のヨーロッパ世界への伝播と西アジア世界</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イスラームの成立 2. イスラーム文化の開花と多文化 3. 初期イスラーム社会 4. トルコ・イスラーム文化の興隆 5. オスマン帝国とヨーロッパ —イスラーム世界がヨーロッパに与えた影響— 6. オスマン帝国の社会と文化 7. オスマン帝国の西欧化 8. イラン・イスラーム文化の成熟 9. 現代における中東紛争 			
【成績評価の方法】 <p>学期末試験、および夏休みの課題レポート。</p>	【参考文献】 <p>本田實信『イスラーム世界の発展』（《ビジュアル版》世界の歴史6、講談社） 鈴木董『オスマン帝国』（講談社現代新書） 佐藤次高『イスラーム世界の興隆』（世界の歴史8、中央公論社） 永田雄三、羽田正『成熟のイスラーム社会』（世界の歴史15、中央公論社） 山内昌之『近代イスラームの挑戦』（世界の歴史20、中央公論社） ※その他の図書については、講義中に随時、紹介する。</p>			
【教科書】 <p>特になし。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本文化史	01 02	通 期 通 期	4 単位 4 単位	横 井 清
【講義概要・学習目標】 <p>使用教科書の記述によりながら、日本文化の歴史を通観する。</p>	【講義計画】 <p>前期においては原始・古代～中世の文化史を追い、後期には近世～近代を対象とする予定。</p>			
【成績評価の方法】 <p>学年度末の筆記試験（試験期間内）による。</p>	【参考文献】 <p>必要に応じて、随時、授業の中で紹介する。</p>			
【教科書】 <p>家永三郎著『日本文化史（第二版）』（岩波新書）毎時間必携。</p>				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
日本語学概論		通 期	4 単位	有 川 康 二
[講義概要・学習目標] 日本語学習者の質問に答えしてほしい。「『は』に濁点がつくと『ば』。でも、なぜ『な』は発音できないのか?」「大(おお)+型(かた)は、「おおがた」。でも、なぜ、大(おお)+風(かぜ)は、「おおがぜ」とならないのか?」「『私は学生です』の意味と『私が学生です』の意味は、同じか、違うか?」 答えられなくても心配御無用。(簡単に答えられてはこれを飯の種にしている私が耐えます。)日本人なら誰でも日本語を「使う」ことはできるが、その複雑な仕組みや働きについて「説明する」ことは出来ない。(誰でも脳味噌は使えるが、脳味噌の中で何が起っているのか説明できない。)日本語学を二つの視点から概論する。①生物言語学の視点:霊長目ヒト科哺乳類の奇形的に腫れあがった脳のニューロン群の働きの一例としての日本語。②教育学の視点:日本語を母語としない人が効果的に日本語を習得する為の実用的な説明。③哲学の視点:「自分とは何者か」という問いを暇な時に考える為の手がかり。	[講義計画] <前期> 1. 文字と音 (e.g. 音素と発音の関係、拍、濁点など) 2. ことばの単位 (e.g. 連濁、形態素、活用など) <後期> 3. 文の成り立ち (e.g. 言語特徴、必須補語 vs. 副次補語、取り立て助詞「は」、理め込み文、テンスなど)			
[成績評価の方法] 出席・筆記試験	[参考文献] 野田尚史『はじめての人の日本語文法』(くろしお出版)			
[教科書] 上山あゆみ『はじめての人の言語学-ことばの世界へ』(くろしお出版)				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
異文化間コミュニケーション論		通 期	4 単位	遠 山 淳
[講義概要・学習目標] 講義の内容は、異文化間コミュニケーションの諸現象およびそのメカニズムや、情報、文化、コミュニケーションの相関関係、言語とコミュニケーション、宗教とコミュニケーション、歴史とコミュニケーション、などについて講義し、普遍文化と個別文化との関係、異文化理解、文化変容、地球化時代の価値観・行動様式について考察する。 情報は文化を生成し、文化は人間に対して規範的に係わる。異文化理解も自文化からの自文化的な「理解」である。異文化間コミュニケーションの最大の問題は自文化なのである。 なお、本講義では、教職課程履修生(英語科)に配慮し、日英米の文化比較、文化の違いから生じる問題点とその解決方略についても重点的に講じる。	[講義計画] 1. 異文化間コミュニケーション論とは 2. 「文化」とは: 静態と動態、定義、情報代謝理論 3. 自文化中心主義と文化相対主義、「グローバル・スタンダード」と「アメリカン・スタンダード」 4. コミュニケーションの志向性と型、動因と文化型、文化の生成と文化特性 5. 言語と文化、英語と英語圏文化、国際英語と文化 6. 非言語コミュニケーションの国際性 7. コミュニケーション能力と言語能力、アメリカ人と日本人の表現能力の比較 8. コミュニケーションの文化型: 片立文化と両立文化(アメリカ文化と日本文化) 9-10. コミュニケーションの比較: アメリカと日本 11. 「理解」法の比較: 「わかる」(分解型)と“understand”(征服型) 12. 定量的方法と定性的方法、特徴と限界			
[成績評価の方法] 前期末、学年末に試験またはレポートを課し、総合的に評価する。	[参考文献] 遠山他著・石井橋本編『日本人のコミュニケーション』桐原書店、1993 古田暁編・石井・久米他著『異文化コミュニケーション』有斐閣、1987 祖父江孝男『文化人類学入門 増補改訂版』中公新書、1992 遠山他編著『異文化コミュニケーションの理論』有斐閣、2001			
[教科書] 遠山他共編者『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣、1998				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較文明論		通 期	4 単位	片 倉 穰
〔講義概要・学習目標〕 <p>この講義では、近年の歴史学・文化人類学・比較文明学などの諸成果をとり入れ、世界史上に存在した、かつ現に存在している諸文明の特徴を明らかにし、諸文明の交流・摩擦・衝突により生じる諸問題を具体的に考察する。この地球上に存在し、また人類史・世界史の動向に影響を及ぼしたにもかかわらず、正当な評価を受けていない諸文明(アフリカ・中南米など)についても検討し、いわゆる四大文明の文明論の立場をとらない。一方、人びとの日常生活に深くかかわる具体的な諸問題(疾病・浴場・ペットなど)を文明論的に考察する。</p> <p>日本は、比較文明論にとって絶好の素材を提供してくれる場であるので、この利点をいかし、日本と諸文明とのかかわりを示す史料(資料)をも活用して講義をすすめる。</p> <p>なお、研究の進展、または新しい資料・情報の入手により、講義計画のなかの項目に一部変更が生じる場合がある。</p>		〔講義計画〕 はじめに一講義の趣旨・目的など [1]日本人の文明観 (1)前近代日本人の文明観 (2)前近代日本人の文明意識 [2]文明の比較 (1)東洋と西洋 (2)ヨーロッパとイスラーム (3)儒教と仏教 (4)狩猟・遊牧文明と農耕文明 [3]文明の交流・受容・摩擦 (1)文明交流における言語の問題 (2)文明の運び屋―倭寇・ヴァイキング (3)巡礼と文明 (4)東アジアの西洋文明受容 [4]日常生活の比較文明論的考察 (1)食物の比較文明論的考察 (2)世界の浴場を考える (3)文明のなかの子ども (4)疾病と文明 (5)文明のなかのいけにえ (6)ペットブームと文明 (7)葬儀と文明 [5] 比較文明論の新展開 (1)人口増と文明 (2)文明のなかの女性 (3)「文明の十字路」の文明論的考察 おわりに―まとめ		
〔成績評価の方法〕 出席状況、期末試験あるいはレポートにより評価する。		〔参考文献〕 川勝平太『日本文明と近代西洋』(NHK ブックス) 日本放送出版協会、1991年 伊東俊太郎『比較文明学を学ぶ人のために』世界思想社、1997年 比較文明学会編『比較文明』(年報) 1~16、刀水書房、1985~2000年		
〔教科書〕 とくにない。プリントを配布して授業をすすめる。				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人文地理学	0 1	通 期	4 単位	野 尻 亘
〔講義概要・学習目標〕 地理学は「地域」・「空間」および人間の「空間的行動」や「環境知覚」などを研究対象としている。地理学も当然のことながら固有の理論や法則を持っている。本講では人文地理学の理論や方法論の基礎について、学説史の流れに沿いながら展望することとしたい。 地理学の論文を読む時、地理学の研究を行う時に必要な思想の体系についてわかりやすく解説する。 従って、中学・高校で学習する「地理」の授業の内容とは異なる話となることを予め承知していただきたい。 社会学・経済学・経営学を専攻する学生にとっての専門課程での教育内容と関連した授業を提供することを心がけたい。		〔講義計画〕 〈前期〉 1. 探検記・産物誌から近代地理学へ 地理と地誌の違い 2. 生態学的視点と地域システム ファンボルト・リッター ラッツェル・ブラーシュ 3. コロロギーから「地域分化」の研究へ リヒトフォーフェン・マルテ・ハーツホーン 4. 地理学における例外主義批判と計量革命 5. 「地域」と「空間」の違い 流動を分析する視点グラヴィティモデル 6. 行動地理学とタイムジオグラフィー 〈後期〉 7. 人文主義地理学 場所や景観の意味づけについて 8. マルクス構造主義と都市研究 9. 立地論 ウェーバー 輸送費・労働費・集積の利益 10. 立地論 レッシュ 市場の均衡と立地条件 11. クリスタラーの中心地研究 12. 現代における地理学の課題		
〔成績評価の方法〕 定期試験(持ち込み不可)。得点が上位から席次351位以下には単位を与えない。問題は客観テストと論述問題とする。		〔参考文献〕 西川 治 『人文地理学入門』東大出版会		
〔教科書〕 使用しない				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
人文地理学	02	通 期	4 単位	藤 森 勉
【講義概要・学習目標】 本講義では、人間の社会生活・社会活動が「地域」とどう関わってきたか、どんな問題があるかを事例研究の成果をもとに具体的に解説する。その場合、地域の大きさや社会集団の大きさによって、多少異なる関係が見られるので、前期は大スケールの場合を、後期は小スケールの場合を取り上げる。	【講義計画】 (前期)大スケールの地域としてオーストラリアを対象とし、次の課題を解説する。 (1) 先住民族アボリジニの生活と社会 (2) イギリス植民地政策とアボリジニ (3) 連邦国家成立と中国人・日本人移民 (4) 日豪経済関係 (後期)小スケールの地域として日本国内の諸地域について地域社会問題を解説する。 (1) 干拓地の農業 (2) 中国山地のたたら (3) 瀬戸内の塩業 (4) 過疎山村 (5) 地方都市 (6) 巨大都市 等を対象とする。			
【成績評価の方法】 定期試験による。	【参考文献】 必要に応じて紹介する。また地図・資料等のプリントを配布する。			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
文化人類学		前期集中	4 単位	小 池 誠
【講義概要・学習目標】 文化人類学は、自分たちとは異なる文化を調査・研究し、この世界に住む様々な人々の文化的多様性を明らかにしてきた。この授業では、文化人類学独自のアプローチと方法論を通して異文化にたいする理解を深めることを目的とする。様々な民族の多様性だけでなく、多様性を通してあらわれてくる人類としての普遍性もみていきたい。私たちの常識とはまったく異なる習慣や社会のあり方をたんに珍しいものとか、遅れたものと見なすのではなく、それぞれに独自の価値を見いだす文化人類学の視点を理解してもらいたい。また、今日大きな話題となっている多文化社会と民族問題についても、より身近な問題として考えてもらいたい。受講者の関心と理解を深めるため、できるかぎりビデオなどの視聴覚教材を利用する予定である。	【講義計画】 1 文化人類学とは何か？ 2 人類の文化と言語（文化とは何か、人類の言語はどんな役割をもつのか？） 3 家族と結婚の多様性（私たちにとって家族とは、結婚とは何か？そして異文化では） 4 政治と経済（どうやって人は力をもつか、交換はどんな意味をもつのか？） 5 国家と民族（民族とは何か、なぜ民族は対立し憎しみあうようになるのか？） 6 宗教と儀礼（人は何を信じ、何を願うのか？）			
【成績評価の方法】 出席と試験の成績を基本にして評価する。また、必要に応じて提出を求めるレポートの成績も加味する。	【参考文献】 講義のなかで必要に応じて紹介する。			
【教科書】				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
応用言語学		前期集中	4 単位	橋 内 武
[講義概要・学習目標] 応用言語学は、1940年代後半から50年代前半にかけて言語学の異言語教育への応用として成立したが、現在では学際的言語学として言語学と隣接科学の中間領域に位置づけられている。その他に、言語問題の学という立場や「ことばの職業」研究であるという立場もあり、一筋縄ではいかないのが、応用言語学である。本講では、これら4つの応用言語学についての基本事項を講ずることをもって応用言語学への誘いとする。履修者にことばの多面性に気付いてもらい、将来日本語教師や言語聴覚士などのことばの職業に就くために必要なことばに対する見方を養ってもらおうことが、学習目標となる。	[講義計画] 1. 応用言語学とは何か — 課題と方法 2. 言語問題の学 — 言語障害、言語の消滅、ことばの乱れ、誤訳 3. 異言語教育学 — 教授法、教師・学習者、教材、辞書、評価 4. 学際的言語学 — 神経言語学、心理言語学、人類言語学、社会言語学、法言語学、経済言語学など 5. 「ことばの職業」研究 — 日本語教師、言語聴覚士、通訳			
[成績評価の方法] 期末試験による。	[参考文献] 白畑知彦ほか著、「英語教育用語辞典」、大修館書店、1999。 ジョンソン・ジョンソン編（岡秀夫監訳）、「外国語教育学大辞典」大修館書店、1999。			
[教科書] なし				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較芸術学		通期	4 単位	林 コウサク 宏作
[講義概要・学習目標] すべての観察は比較ということの上に成り立っている。比較するということは、その座標として、比較が行われるための一定のカテゴリーを前提とする。この講義では、エジプト、ギリシア、インド、東アジアなどにおける彫塑の特徴を概述し、比較芸術学の方法を明らかにしたい。	[講義計画] 1. 比較芸術学の課題と研究領域 2. エジプトの彫刻 3. ギリシアの彫刻 4. ローマの彫刻 5. 仏像に関する諸問題 6. 彫刻の素材			
[成績評価の方法] 前期末及び後期末のテスト、レポート、出席状況に基づいて総合的に評価する。	[参考文献] 『近代芸術学の成立と課題』 吉岡健二郎著、創文社 『芸術の世界』 井島 勉編、創文社 『原色 日本の美術』 小学館 『中国美術全集・彫塑編』 人民美術出版社			
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
比較宗教学		通 期	4 単位	小 林 信 彦
[講義概要・学習目標] 仏教でブツになるのは「心があるもの」に限られていて、植物には心がないと考えられている。ところが、日本人は「草や木も佛になる」と言う。万物に「たま」が宿ると信じる日本人にとって、植物を含む自然と人間の間には明確な境界線がないのである。この授業では、「ブツ」と「佛」との違いを手掛かりに、インド人の世界観と日本人の世界観を比較する。	[講義計画] 日本の「仏教」に関する研究文献を読ませ、それを解説する課程でインド文献の記述と詳細に比較して、日本文化の本質を知る手掛かりとする。			
[成績評価の方法] ① 四週間ごとに講義内容の要約を提出させる。 ② 前期の終わりと学期末ごとに試験を行う。	[参考文献] 必要なものは複写して配布する。			
[教科書]				

科 目 名	クラス	講義区分	単位数	担 当 者
言語文化特講 (社会言語学)		通期	4 単位	大原 始子
[講義概要・学習目標] 日常、「ことば」は人間にとって空気のような存在であるため、その変化や使用の样に注意を向けずにいることが多い。社会的要因と深く関わりながら、「ことば」は様々に姿を変え、日々変化している。また、話し手は、文化や社会の慣習にそって、「場面」や「相手」にふさわしい「ことば」を使い分ける。このように、言語の変種を、誰が、どこで、何を、どのように話すかに注目し、分析していく研究が社会言語学である。 本講義では、前期では多様な社会における言語現象を中心に、後期では言語の多様性に焦点を当てて進めていく。専門的な内容に入るため、言語学の基礎知識があることが望ましい。社会学、文化人類学、社会心理学などと深く関わる学際的な学問領域なので、幅広い関心を持って、講義に取り組んでほしい。	[講義計画] <前期> 言語と方言 国語、公用語、共通語、標準語 バイリンガルとダイグロシア ビジンとクレオール 言語とアイデンティティ アジアとアフリカの言語計画 <後期> 変種の地域差、世代差、男女差、階層差 日本語アクセントの平板化 借用語 会話分析			
[成績評価の方法] 前期、後期終了時に、論述試験を行う。講義中に出すレポートの成績も評価に加える。	[参考文献] その都度、プリントして配布、または指示する。			
[教科書] 『社会原義学への招待』（ミネルヴェ書房）				